

山武市総合計画 平成 20 年度(2008 年度)～平成 29 年度(2017 年度)

実 施 計 画 27

計画期間【平成27年度～平成29年度】

誰もがしあわせを実感できる独立都市 さんむ

平成 27 年 3 月

山武市

—目 次—

第1章 実施計画の概要

1	計画の性格	1
2	計画の期間	1
3	計画の基本方針	1
4	計画の範囲	2
5	実施計画事業の選定基準	2

第2章 財政計画

1	計画期間内の財政見通し	3
	(1) 歳入見通し	
	(2) 歳出見通し	
2	市の財政フレーム	4
3	実施計画事業一覧表	5

第3章 分野別計画

	分野別計画の見方	8
政策1	暮らしを支える快適なまちづくり	11
政策2	住みやすい環境と安全なまちづくり	28
政策3	にぎわい豊かな暮らしを創出するまちづくり	41
政策4	だれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり	54
政策5	生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり	66
政策6	市民と行政が協働してつくるまちづくり	79
政策9	総合推進	92

第1章 実施計画の概要

1 計画の性格

実施計画は、総合計画の基本構想に掲げる将来都市像「誰もがしあわせを実感できる独立都市 さんむ」を実現するため、基本計画に示された施策を効果的にどのように実施していくのかを具体的な事務事業で示すものであり、毎年度の事業計画や予算編成等の指針となるものです。

実施計画は、向こう3年間を計画期間として策定し、毎年ローリング方式により見直しを行います。

年 度	2 0	2 1	2 2	2 3	2 4	2 5	2 6	2 7	2 8	2 9
基本構想										
基本計画										
実施計画										
毎年 3 か年 ローリング方式※										

⇒今回策定の計画期間を表します。

※ローリング方式：

総合計画など長期の事業計画の実施過程で、計画と実績を毎年チェックし、計画的な目標達成を図る方式です。

2 計画の期間

本計画の期間は、平成27年度から平成29年度までの3か年とします。

平成20年3月に策定した山武市総合計画の第8期目の実施計画であるとともに、後期基本計画（平成25年度～平成29年度）の第3期目の実施計画となります。

3 計画の基本方針

本計画に掲げられた事業を進めるにあたっては、財源の確保に最大限努めるとともに、行政評価※の考え方を取り入れ、国の予算動向を考慮したうえ効果的・効率的に事業を進めます。

また、それぞれの事業の実施にあたっては、

- ・暮らしを支える快適なまちづくり
- ・住みやすい環境と安全なまちづくり
- ・にぎわい豊かな暮らしを創出するまちづくり
- ・だれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり
- ・生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり
- ・市民と行政が協働してつくるまちづくり

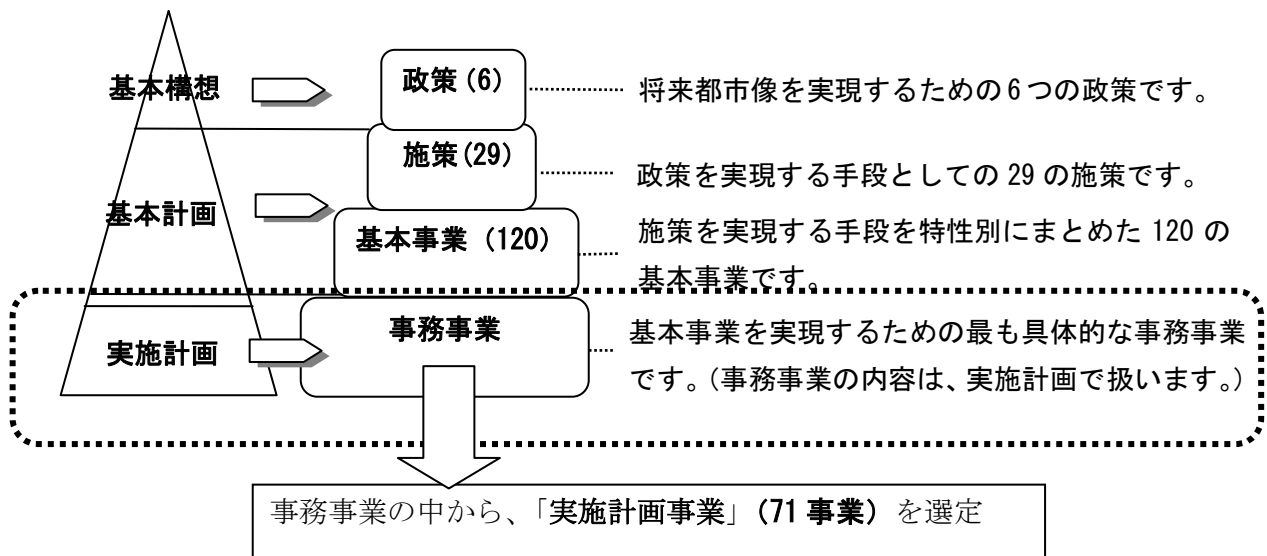
という、基本構想に定める6つの政策に基づき取り組みます。

※行政評価：

施策や基本事業について誰もがわかるように目標を設定し、
実施後はその結果を踏まえて次の企画や実施に反映させ、
限られた行政財源を有効に活用していくマネジメント（経営管理）の仕組みです。

4 計画の範囲

実施計画は、「事務事業」の中から「実施計画事業」を選定し、それを中心に構成します。



5 実施計画事業の選定基準

実施計画事業は、事務事業の中から次の基準をもとに選定します。

(対象事業は別紙一覧表のとおり)

施策の成果に貢献度が大きく、かつ、政策的に支出が不可欠な下記事業

1. 公共施設等の建設事業、公共用地の取得、工事の負担金、公共施設の修繕事業（経常的なものを除く）等
2. 1 件 100 万円以上の備品購入を含む事業
3. 計画期間（平成 27 年度～平成 29 年度）内に着手する新規事業
4. 政策的意義の高い主要なソフト事業

※東京オリンピック・パラリンピック関連の事務事業については、「山武市東京オリンピック・パラリンピック戦略推進基本計画」に基づき、別途とりまとめを行います。

※地方創生関連の事務事業については、「地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金」の活用を予定している事務事業（東京オリンピック・パラリンピック関連の事務事業を除く）を掲載しています。

第2章 財政計画

1 計画期間内の財政見通し

国は、住民に身近な行政は、地方が広く担うとともに、地域住民が自らの判断と責任において地域の諸課題に取り組むことができるよう地方分権改革を推進しています。本市においても、地方の役割を念頭に置き、施策を進めているところです。

また、市総合計画を軸に新たな発想に基づき、限られた財源の中で何をどのように達成するかを見極めることが必要となっています。

このような中、計画期間内（平成27年度～29年度）の財政収支について、次のとおり推計しました。

(1) 歳入見通し

ア 市税

過去の実績や景気の影響を考慮し推計しました。

イ 地方交付税

国の動向及び人口の減少などを考慮して推計しました。

ウ 国県支出金

過去の実績を踏まえ、実施計画事業の歳入を考慮して推計しました。

エ 繰入金

実施計画事業及び財政調整基金繰入額の目標を考慮して推計しました。

オ 市債

実施計画事業のための借入れや臨時財政対策債を考慮して推計しました。

カ その他の歳入

過去の実績を踏まえ、地方特例交付金の期間等を考慮し推計しました。

(2) 歳出見通し

ア 人件費

計画期間内の職員採用の抑制を前提に、採用及び退職を踏まえ推計しました。

イ 公債費

実施計画事業に係る市債や臨時財政対策債などの借入予定を考慮して推計しました。

ウ 補助費等・繰出金

地方独立行政法人さんむ医療センターや一部事務組合、特別会計への繰出しなどを考慮して推計しました。

エ 投資的経費

実施計画事業を含む臨時・投資的事業を考慮して推計しました。

オ その他の歳出

過去の実績に基づき推計しました。

2 市の財政フレーム

一般会計ベース

《歳入》

(単位：百万円)

年度 区分	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	合計
歳入総額	22,595	21,267	20,114	63,976
市税	5,377	5,326	5,290	15,993
地方交付税	7,168	6,912	6,559	20,639
譲与税・交付金等	1,254	1,251	1,251	3,756
国県支出金	3,273	3,357	3,170	9,800
繰入金	1,328	589	585	2,502
市債	2,709	2,419	1,844	6,972
その他	1,486	1,413	1,415	4,314

* 数値は、予算ベースの推計です。

《歳出》

(単位：百万円)

年度 区分	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	合計
歳出総額	22,595	21,267	20,114	63,976
人件費	4,091	3,774	3,720	11,585
扶助費	2,967	3,071	3,164	9,202
公債費	2,602	2,660	2,627	7,889
補助費等	3,762	3,280	3,176	10,218
繰出金	1,495	1,858	1,901	5,254
投資的経費	4,162	3,316	2,247	9,725
その他	3,516	3,308	3,279	10,103
実施計画事業費	4,256	1,833	1,277	7,366

* 数値は、予算ベースの推計です。

実施計画事業一覧表

(単位: 千円)

事業費合計	平成27年度	平成28年度	平成29年度
平成26年度繰越額	1,230,538		
各年度当初予算計画額(※特別会計事業を除く)	4,255,613	1,832,630	1,276,825
うち一般財源ベース	1,280,100	900,523	797,735
総 合 計	5,486,151	1,832,630	1,276,825

政策	施策	基本事業	事業名	平成27年度	平成28年度	平成29年度	頁
01	暮らしを支える快適なまちづくり			1,781,252	1,212,239	782,426	
	01	道路網の整備・充実		1,450,357	824,680	668,540	
		01	幹線道路の整備と維持管理	1,106,484	584,680	428,540	
			作田川関連市道整備事業	52,870	43,490	27,670	17
			埴谷・板川線道路改良事業	14,000	17,000	17,000	17
			避難道路整備事業	704,268	0	0	18
			成東304号線道路改良事業	80,206	0	0	18
			(平成26年度繰越額)	(44,973)			
			成東259号線道路改良事業	155,940	200,000	100,000	19
			(平成26年度繰越額)	(40,766)			
			上横地・松ヶ谷線外防災ネットワーク道路整備事業	22,900	122,100	84,800	19
			(平成26年度繰越額)	(30,323)			
			蓮沼ホ・蓮沼イ線外防災ネットワーク道路整備事業	16,300	132,000	132,000	20
			(平成26年度繰越額)	(22,214)			
			橋梁長寿命化修繕事業	60,000	70,090	67,070	20
		02	生活道路の整備と維持管理	125,138	0	0	
			成東43号線道路改良事業	60,000	0	0	21
			(平成26年度繰越額)	(41,458)			
			南郷160号線道路改良事業	65,138	0	0	21
			(平成26年度繰越額)	(28,592)			
		99	施策の総合推進	218,735	240,000	240,000	
			道路維持補修事業	218,735	240,000	240,000	22
	02	公共交通網の整備・充実		81,165	81,201	81,201	
		02	市内における交通手段の確保	65,162	65,162	65,162	
		※	身近な公共交通確保事業	65,162	65,162	65,162	22
			(平成26年度繰越額)	(2,754)			
		03	バスでの主要都市へのアクセス向上	16,003	16,039	16,039	
			空港シャトルバス利用促進事業	16,003	16,039	16,039	23
	03	防災・消防対策の充実		19,115	20,470	8,110	
		01	地域防災力の向上	12,820	4,200	4,200	
			防災用備蓄物資整備事業	2,610	2,600	2,600	23
			防災資器材整備事業	3,856	1,600	1,600	24
			防災行政無線子局整備事業	6,354	0	0	24
		※	木造防災備蓄倉庫実証実験調査事業	0	0	0	25
			(平成26年度繰越額)	(540)			
		04	防災意識の向上	6,295	3,910	3,910	
			木造住宅耐震化促進事業	2,240	0	0	25
			自主防災組織育成事業	4,055	3,910	3,910	26
		06	消防力の充実	0	12,360	0	
			コミュニティ消防センター設置事業	0	12,360	0	26

◎ ※印が付されている事業については「地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金」の活用を予定している事業です。

政策	施策	基本 事業	事業名	平成27年度	平成28年度	平成29年度	頁
	04		都市の整備	230,615	285,888	24,575	
		02	駅周辺の利便性の向上	230,615	285,888	24,575	
			成東駅南側駅前広場整備事業	159,191	252,888	0	27
			成東駅南口線整備促進事業	71,424	33,000	24,575	27
02			住みやすい環境と安全なまちづくり	69,618	84,230	37,649	
	01		生活環境の充実	46,300	57,722	11,141	
		03	美化運動の推進と不法投棄防止対策	10,937	11,141	11,141	
			不法投棄防止対策事業	2,326	2,415	2,415	37
			不法投棄パトロール事業	8,611	8,726	8,726	37
		04	航空機騒音等の対策	35,363	46,581	0	
			航空機騒音対策空調機器設置事業	35,363	46,581	0	38
	03		自然環境の保全	3,318	4,718	4,718	
		03	バイオマスタウン構想の推進	3,318	4,718	4,718	
		※	バイオマス普及事業	1,568	1,568	1,568	38
			(平成26年度繰越額)	(300)			
			木質バイオマス燃料利活用補助事業	1,750	1,750	1,750	39
		※	ウッド・トイスタート事業	0	1,400	1,400	39
			(平成26年度繰越額)	(2,000)			
	06		防犯対策の充実	20,000	21,790	21,790	
		03	犯罪がおこりにくい環境に向けての施設設備の整備	20,000	21,790	21,790	
			LED防犯灯整備事業	20,000	21,790	21,790	40
03			にぎわい豊かな暮らしを創出するまちづくり	1,049,519	101,916	101,916	
	01		農林水産業の振興	1,048,385	91,483	91,483	
		01	担い手の育成・支援	8,000	8,000	8,000	
			認定農業者育成事業	8,000	8,000	8,000	48
		02	農地の利用集積の推進	8,138	8,138	8,138	
			農地利用集積助成事業	8,138	8,138	8,138	48
		05	森林再生の推進	4,100	4,100	4,100	
			市内産木材利用促進事業	2,000	2,000	2,000	49
			木材流通システム助成事業	2,100	2,100	2,100	49
		06	農業基盤整備の推進	980,833	23,931	23,931	
			多面的機能事業	23,931	23,931	23,931	50
			国営両総土地改良事業	956,902	0	0	50
		99	施策の総合推進	47,314	47,314	47,314	
			経営所得安定対策推進事業	47,314	47,314	47,314	51
	02		商工業の振興	701	10,000	10,000	
		02	市内商店の利用拡大	0	0	0	
		※	プレミアム地域商品券事業(地方創生)	0	0	0	51
			(平成26年度繰越額)	(108,000)			
		03	経営の体質強化・育成	701	10,000	10,000	
		※	エコミックガーデニング推進事業	701	10,000	10,000	52
			(平成26年度繰越額)	(8,917)			
	03		観光の振興	0	0	0	
		02	観光関連団体との連携によるイベントの開催	0	0	0	
		※	さんむ観光優待キャンペーン事業(地方創生)	0	0	0	52
			(平成26年度繰越額)	(15,845)			
	04		シティセールスの充実	433	433	433	
		99	施策の総合推進	433	433	433	
			シティセールス推進事業	433	433	433	53

◎ ※印が付されている事業については「地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金」の活用を予定している事業です。

政策	施策	基本 事業	事業名	平成27年度	平成28年度	平成29年度	頁
04	だれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり			231,864	235,408	240,911	
	01	高齢者福祉の充実		10,368	10,435	10,704	
		04	安全・安心な生活への仕組みづくり	10,368	10,435	10,704	
			緊急通報ネットワーク事業	10,368	10,435	10,704	62
	03	健康づくりの推進		56,875	56,892	63,492	
		04	医療体制の充実	56,875	56,892	63,492	
			医学生奨学金等貸付事業	19,612	19,630	19,630	62
			看護学生奨学金貸付事業	37,263	37,262	43,862	63
	04	子育ての支援		162,671	166,131	164,765	
		01	幼保機能の充実	0	0	0	
		※	ちびっこ国際交流事業	0	0	0	63
			(平成26年度繰越額)	(8,756)			
		03	子育て家庭への援助	162,671	166,131	164,765	
			母子家庭自立支援給付金事業	3,421	8,538	8,538	64
			子ども医療費助成事業	136,121	134,831	134,831	64
			高校生等医療費助成事業	23,129	22,762	21,396	65
	05	地域福祉の充実		1,950	1,950	1,950	
		01	地域福祉の担い手育成	1,950	1,950	1,950	
			地域福祉活動推進助成事業	1,950	1,950	1,950	65
05	生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり			546,906	54,255	55,555	
	01	学校教育の充実		523,698	25,553	26,853	
		02	「確かな学力」の向上と「活きた学力」の推進	9,101	10,400	11,700	
			少人数指導授業推進事業	9,101	10,400	11,700	73
		05	安全な教育環境の整備	514,597	15,153	15,153	
			小学校空調機改修事業	98,632	0	0	73
			小学校体育施設非構造部材耐震事業	48,484	0	0	74
			中学校体育施設非構造部材耐震事業	77,825	0	0	74
			小学校体育館改修事業	269,136	0	0	75
			ICTサポート事業	20,520	15,153	15,153	75
	02	生涯学習の推進		13,340	18,440	18,440	
		01	学習ニーズに対応した学習機会の提供	13,340	18,440	18,440	
		※	(仮称)松尾交流館ダンス振興事業	13,340	18,440	18,440	76
			(平成26年度繰越額)	(10,594)			
	03	スポーツの振興		1,950	1,950	1,950	
		01	スポーツ活動の充実	1,950	1,950	1,950	
			山武市支部(学校区)体育振興事業	1,950	1,950	1,950	76
	04	学校家庭地域の連携		6,331	6,725	6,725	
		04	地域教育力の向上	6,331	6,725	6,725	
			放課後子ども教室開催事業	1,445	1,445	1,445	77
			少年海外派遣支援事業	4,886	5,280	5,280	77
	05	人権尊重のまちづくり		1,587	1,587	1,587	
		01	人権教育・人権啓発の推進	1,587	1,587	1,587	
			子ども人権(CAP)事業	1,587	1,587	1,587	78

◎ ※印が付されている事業については「地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金」の活用を予定している事業です。

政策	施策	基本事業	事業名	平成27年度	平成28年度	平成29年度	頁
06	市民と行政が協働してつくるまちづくり			576,454	144,582	58,368	
	01	協働と交流によるまちづくり		25,533	28,849	32,852	
		01	市民活動の活性化	11,222	14,538	18,541	
			市民提案型交流のまちづくり推進事業	4,141	5,650	5,650	86
			地域まちづくり協議会事業	7,081	8,888	12,891	86
		04	異文化交流の推進	14,311	14,311	14,311	
			地域まちづくりグローバル賑わい空間事業	14,311	14,311	14,311	87
	03	計画的・効率的な行財政運営		550,921	115,733	25,516	
		01	行政評価の推進	6,238	6,250	6,250	
			行政評価制度推進事業	6,238	6,250	6,250	87
		02	人材育成と効率的な組織運営	756	1,117	0	
			人事評価事業	756	1,117	0	88
		05	公共資産の適正化とファシリティマネジメントの推進	525,009	89,100	0	
			松尾地域賑わい空間創出事業	37	0	0	88
			(平成26年度繰越額)	(798,102)			
			本庁舎整備事業	271,419	89,100	0	89
			(仮称)蓮沼タワー整備事業	253,553	0	0	89
			(平成26年度繰越額)	(37,303)			
		※	(仮称)松尾交流館整備事業	0	0	0	90
			(平成26年度繰越額)	(10,977)			
		※	(仮称)蓮沼タワー振興事業	0	0	0	90
			(平成26年度繰越額)	(8,125)			
		07	情報化の推進	18,918	19,266	19,266	
			証明書等コンビニ交付構築事業	18,918	19,266	19,266	91
99	総合推進			0	0	0	
	01	政策の総合推進		0	0	0	
		01	総合推進	0	0	0	
		※	地方創生総合戦略推進事業	0	0	0	93
			(平成26年度繰越額)	(9,999)			

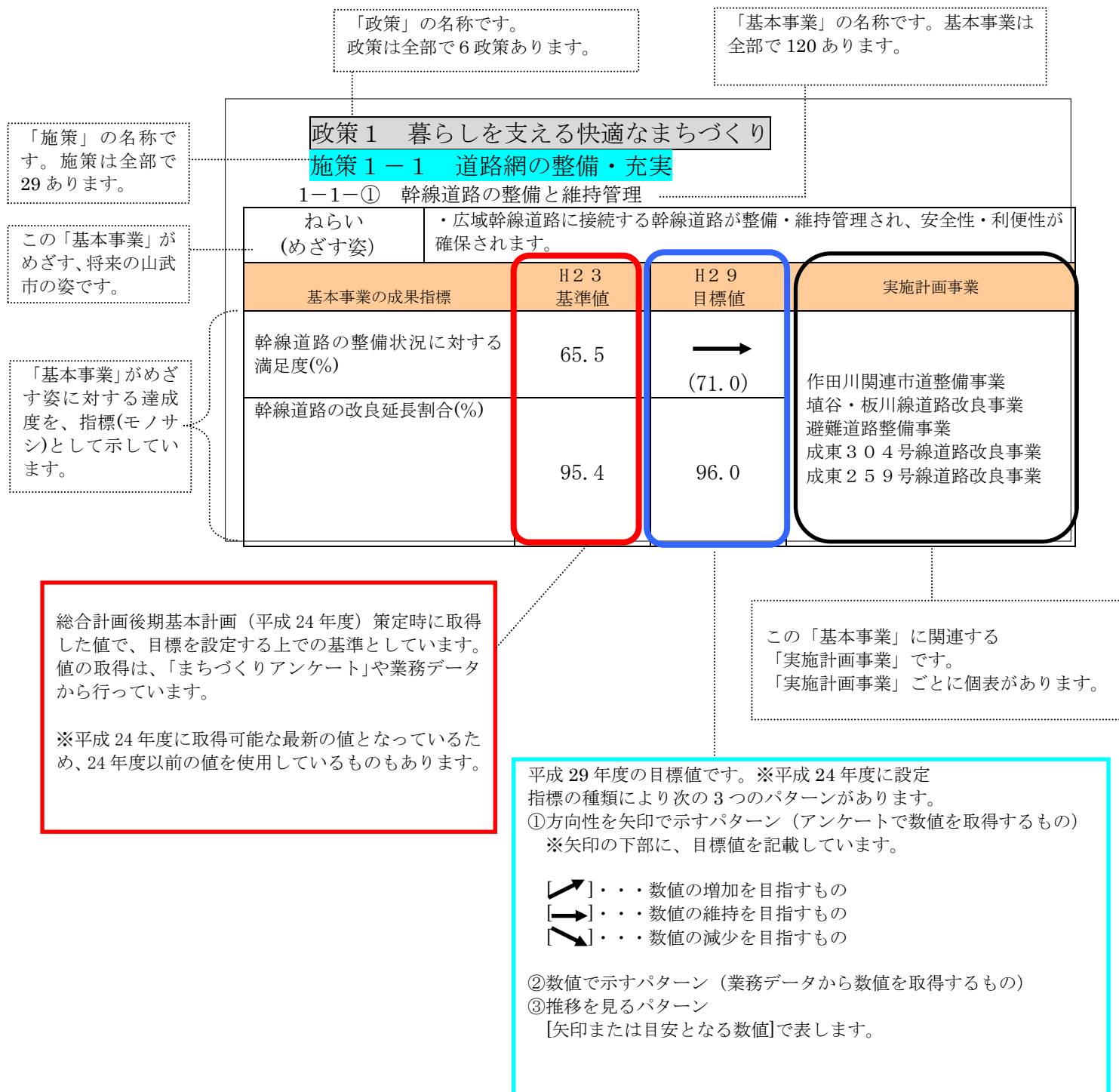
◎ ※印が付されている事業については「地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金」の活用を予定している事業です。

第3章 分野別計画

【分野別計画の見方】

分野別計画は、①「施策」と「基本事業」のページと、
②「実施計画事業」の個表のページで構成されています。

①「施策」と「基本事業」のページの見方



②「実施計画事業」の個表のページの見方

この実施計画事業の上位政策・施策・基本事業です。

「実施計画事業」の名称です。

新規事業 / 継続事業の区分です。

実施計画事業名						
政策名			担当部署			
施策名			事業区分			
基本事業名			計画年度			
1 対象(誰、何に対して事業を行うのか)			2 事業概要・全体計画			
3 意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)						
指標・事業費の推移			単位	H〇〇年度当初	H〇〇年度計画	H〇〇年度計画
区分	指標名称					
活動指標①						
活動指標②						
成果指標①						
成果指標②						
事業費		当初予算	千円			
		平成〇〇年度繰越額	千円			

「◆手段」の活動量・活動内容を、数値で示す指標(モノサシ)です。例としては、開催回数、参加者数、整備延長などがあります。

「◆意図」の達成度を数値で示す指標(モノサシ)です。事業を行うことによって、「◆対象」にもたらされた効果を表します。

政策1 暮らしを支える快適なまちづくり

【施策】

1-1 道路網の整備・充実

1-2 公共交通網の整備・充実

1-3 防災・消防対策の充実

1-4 都市の整備

【基本事業】

1-1-① 幹線道路の整備と維持管理

1-1-② 生活道路の整備と維持管理

1-1-99 施策の総合推進

1-2-① 鉄道の利便性向上

1-2-② 市内における交通手段の確保

1-2-③ バスでの主要都市へのアクセス向上

1-3-① 地域防災力の向上

1-3-② 災害支援体制の確立

1-3-③ 津波対策の推進

1-3-④ 防災意識の向上

1-3-⑤ 要援護者の避難支援

1-3-⑥ 消防力の充実

1-3-⑦ 治山・治水対策の促進

1-4-① 市街地の整備

1-4-② 駅周辺の利便性の向上

1-4-③ 街並景観形成の推進

施策 1－1 道路網の整備・充実

1－1－① 幹線道路の整備と維持管理

ねらい (めざす姿)	・広域幹線道路に接続する幹線道路が整備・維持管理され、安全性・利便性が確保されます。		
基本事業の成果指標	H 2 3 現状値	H 2 9 目標値	実施計画事業
幹線道路の整備状況に対する満足度 (%)	65.5	 (71.0)	作田川関連市道整備事業 埴谷・板川線道路改良事業 避難道路整備事業 成東 3 0 4 号線道路改良事業 成東 2 5 9 号線道路改良事業
幹線道路の改良延長割合 (%)	95.4	96.0	上横地・松ヶ谷線外防災ネットワーク道路整備事業 蓮沼ホ・蓮沼イ線外防災ネットワーク道路整備事業 橋梁長寿命化修繕計画

1－1－② 生活道路の整備と維持管理

ねらい (めざす姿)	・生活道路が整備・維持管理され、安全性・利便性が確保されます。		
基本事業の成果指標	H 2 3 基準値	H 2 9 目標値	実施計画事業
生活道路の整備状況に対する満足度 (%)	59.0	 (61.0)	成東 4 3 号線道路改良事業 南郷 1 6 0 号線道路改良事業

1－1－99 施策の総合推進

実施計画事業	道路維持補修事業
--------	----------

施策 1－2 公共交通網の整備・充実

1－2－① 鉄道の利便性向上

ねらい (めざす姿)	・鉄道の本数を維持し、通勤、通学、買い物や余暇などの活動が快適に行えます。		
基本事業の成果指標	H 2 3 基準値	H 2 9 目標値	実施計画事業
1日当たりの鉄道利用者数（人）	5,247	 (5,000)	

1－2－② 市内における交通手段の確保

ねらい (めざす姿)	・市内の交通手段が確保され、円滑に移動できます。		
基本事業の成果指標	H 2 3 基準値	H 2 9 目標値	実施計画事業
市内移動の交通手段に困っている市民の割合（％） ※この目標値表示は、「市内移動の交通手段に困っている市民の割合」を少なくすることを示しています。	27.4	※  (24.0)	身近な公共交通確保事業
基幹バスの年間利用者数（人）	32,336	 (48,000)	
乗合タクシーの年間利用者数（人）	34,828	 (48,000)	
バス運行状況の満足度（％）	40.1	 (45.0)	

1－2－③ バスでの主要都市へのアクセス向上

ねらい (めざす姿)	・バスでの主要都市へのアクセス本数が維持され、利用者が増加します。		
基本事業の成果指標	H 2 3 基準値	H 2 9 目標値	実施計画事業
1日当たりの主要都市へのバス利用者数（人）	1,281	1,400	空港シャトルバス利用促進事業

施策 1－3 防災・消防対策の充実

1－3－① 地域防災力の向上

ねらい (めざす姿)	・地域防災力を強化するために、体制づくりや訓練が実施されています。		
基本事業の成果指標	H 2 3 基準値	H 2 9 目標値	実施計画事業
自主防災組織数（組織）	38	48	防災用備蓄物資整備事業 防災資器材整備事業
各地区防災訓練実施率（％）	0.0	46.0	防災行政無線子局整備事業 木造防災備蓄倉庫実証実験調査事業

1－3－② 災害支援体制の確立

ねらい (めざす姿)	・災害発生時における支援体制及び適切な情報伝達が確立されています。		
基本事業の成果指標	H 2 3 基準値	H 2 9 目標値	実施計画事業
災害協定件数（件）	18	30	
保存食の備蓄量（食）	6,000	9,000	
災害時給水体制の整備数（か所）	6	22	
防災・災害情報の伝達手段数（件）	3	9	

1－3－③ 津波対策の推進

ねらい (めざす姿)	・津波から市民を守り、減災のための備えがされています。		
基本事業の成果指標	H 2 3 基準値	H 2 9 目標値	実施計画事業
市の津波対策が推進されていると考える市民の割合（％）	47.4	 (55.0)	

1－3－④ 防災意識の向上

ねらい (めざす姿)	・市民の災害に対する意識が高まり、災害に対する備えができます。		
基本事業の成果指標	H 2 3 基準値	H 2 9 目標値	実施計画事業
災害に対する備えの平均実施項目（項目）	4.57	 (7.00)	木造住宅耐震化促進事業 自主防災組織育成事業

1-3-⑤ 要援護者の避難支援

ねらい (めざす姿)	・要援護者が安全に避難できるような仕組みや協力体制が整っています。		
基本事業の成果指標	H 2 3 基準値	H 2 9 目標値	実施計画事業
近所に、災害時に助けが必要な人がいることを知っている市民の割合 (%)	23.0	 (40.0)	
要援護者名簿登録者数 (人)	2,785	 (5,000)	

1-3-⑥ 消防力の充実

ねらい (めざす姿)	・消防団員及び常備消防職員の確保により、効率的な消防活動が実施され消防力が向上します。		
基本事業の成果指標	H 2 3 基準値	H 2 9 目標値	実施計画事業
消防団員の火災出動率 (%)	23.9	30.0	コミュニティ消防センター設置事業
消防団員の平均年齢 (歳)	34.8	35.5	
常備消防職員の充足率 (%)	94.6	100	

1-3-⑦ 治山・治水対策の促進

ねらい (めざす姿)	・風水害による浸水などの被害が抑えられます。		
基本事業の成果指標	H 2 3 基準値	H 2 9 目標値	実施計画事業
日降水量 100mm クラスの風水害における床上・床下浸水家屋数 (棟)	0	0	
治山治水対策年間整備箇所数 (か所)	5	 (7)	

施策 1－4 都市の整備

1－4－① 市街地の整備

ねらい (めざす姿)	・機能的な都市施設が整備、計画的な土地利用がされ、市民の利便性、快適性が向上します。		
基本事業の成果指標	H 2 3 基準値	H 2 9 目標値	実施計画事業
都市施設として整備（再整備）している 公園数（か所）	48	65	
建築確認申請済割合（％）	37.4	48.0	

1－4－② 駅周辺の利便性の向上

ねらい (めざす姿)	・駅周辺の利便性が向上します。		
基本事業の成果指標	H 2 3 基準値	H 2 9 目標値	実施計画事業
駅周辺の利便性に対する満足度（％）	36.3	 (50.0)	成東駅南側駅前広場整備事業 成東駅南口線整備促進事業

1－4－③ 街並景観形成の推進

ねらい (めざす姿)	・地域固有の都市景観が保全され、まちの魅力度が向上します。		
基本事業の成果指標	H 2 3 基準値	H 2 9 目標値	実施計画事業
景観に対する満足度（％）	67.0	 (70.0)	

実施計画事業名			作田川関連市道整備事業					[619]	
政策名	01	暮らしを支える快適なまちづくり			担当部課		都市建設部 土木課		
施策名	01	道路網の整備・充実			事業区分		継続事業		
基本事業名	01	幹線道路の整備と維持管理			計画年度		平成15年度～平成30年度		
1 対象（誰、何に対して事業を行うのか）					2 事業概要・全体計画				
道路用地 道路用地地権者					県河川改修事業で設置する管理用道路（幅員3m）の設置にあたり、市が隣接地（2m～4m）の用地確保を行うことにより県が管理用道路を兼ね市道整備を行います。 現在河川に架設されている橋梁の架替えに伴う工事及び市道整備に関する負担金を県に納入します。 事業費 620,000千円（県への負担金）80,000千円（用地買収費）合計700,000千円 架替え対象橋梁数 8箇所、市道整備延長 5,280m 市道整備箇所 山武市成東地先（加持橋）～山武市森地先（日向橋） 山武市成東地先（市役所脇）				
3 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
県営河川改修事業に併せて、用地を取得し、市道の整備を行います。									
指標・事業費の推移					単位	H26年度当初	H27年度計画	H28年度計画	H29年度計画
区 分	指 標 名 称								
活動指標①	用地交渉回数				回	20	20	20	20
活動指標②									
成果指標①	用地取得済面積				m ²	8,000	8,500	9,000	9,500
成果指標②									
事業費			当初予算		千円	28,070	52,870	43,490	27,670
			平成26年度繰越額		千円				

実施計画事業名		埴谷・板川線道路改良事業				[1070]		
政策名	01	暮らしを支える快適なまちづくり		担当部課	都市建設部 土木課			
施策名	01	道路網の整備・充実		事業区分	継続事業			
基本事業名	01	幹線道路の整備と維持管理		計画年度	平成04年度～平成30年度			
1 対象（誰、何に対して事業を行うのか）				2 事業概要・全体計画				
市民 市道埴谷富里線 ※H25.4より【埴谷・板川線】				道路の拡幅と側溝、歩道の整備により道路機能を充実することで、道路利用者の安全と利便性の向上を図ります。 道路の概要（現状） 山武市埴谷地先（諸木内十字路）～山武市板川地先（木戸川） 総延長 3906メートル 幅員5.0m 整備内容 L=1,650m 幅員W=10.0m 平成26年度 道路改良工事(L=160m) 平成27年度 道路改良工事(L=160m) 平成28年度 道路改良工事(L=160m) 平成29年度 道路改良工事(L=160m) 平成30年度 道路改良工事(L=160m) 平成31年度 道路改良工事(L=160m)				
3 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）								
道路利用者の安全性を確保し、利便性の向上を図ります。								
指標・事業費の推移				単位	H26年度当初	H27年度計画	H28年度計画	H29年度計画
区 分	指 標 名 称							
活動指標①	年度当たりの市道埴谷・板川線道路改良延長			m	160	160	160	160
活動指標②								
成果指標①	市道埴谷・板川線道路改良済延長			m	1,150	980	1,140	1,300
成果指標②								
事 業 費			当初予算	千円	17,000	14,000	17,000	17,000
			平成26年度繰越額	千円				

実施計画事業名			避難道路整備事業					[1652]	
政策名	01	暮らしを支える快適なまちづくり			担当部課		都市建設部 土木課		
施策名	01	道路網の整備・充実			事業区分		継続事業		
基本事業名	01	幹線道路の整備と維持管理			計画年度		平成24年度 ～ 平成27年度		
1 対象（誰、何に対して事業を行うのか）					2 事業概要・全体計画				
木戸川河口付近を含む緑海地区の海岸周辺市民					震災時に避難場所まで遠距離避難を余儀なくされる地域などに住む人が、安全に避難するために、避難道路を整備します。				
3 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）					整備内容 L=2,950m W=8.0m（車道部） 総事業費 908,612千円 平成25年度 調査設計 平成26年度 用地買収 本工事 平成27年度 本工事				
海岸周辺市民の安全と命を守り、安心安全な生活環境の向上を図ります。									
指標・事業費の推移					単位	H26年度当初	H27年度計画	H28年度計画	H29年度計画
区 分	指 標 名 称								
活動指標①	工事発注件数				回	0	1		
活動指標②	関係機関(警察等)との協議回数				回	6	2		
成果指標①	市道改良済延長				m	0	2,950		
成果指標②	用地買収面積				m ²	0	8,700		
事業費				当初予算	千円	50,857	704,268		
				平成26年度繰越額	千円				

実施計画事業名			成東304号線道路改良事業					[1664]		
政策名	01	暮らしを支える快適なまちづくり			担当部課		都市建設部 土木課			
施策名	01	道路網の整備・充実			事業区分		継続事業			
基本事業名	01	幹線道路の整備と維持管理			計画年度		平成24年度 ～ 平成27年度			
1 対象（誰、何に対して事業を行うのか）					2 事業概要・全体計画					
市民、市道新町・殿台線 ※H25.4より【成東304号線】					道路の拡幅と歩道や側溝の設置により道路機能を充実することで、利用者の安全と利便性の向上を図ります。 道路の概要（現状） 本路線は、国道126号線に並行する殿台下町線と、現在市道でやがて県道格上げとなる新町1号線を接続することで、交差点付近の慢性的な交通渋滞の解消を図ります。 整備内容 L=360m W=10m 平成25年度 用地買収1250㎡道路改良工事 L=140m 平成26年度 道路改良工事 L=120m 平成27年度 道路改良工事 L=100m					
3 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）										
道路利用者の安全性を確保し、利便性を向上します。					指標・事業費の推移					
区 分	指 標 名 称				単位	H26年度当初	H27年度計画	H28年度計画	H29年度計画	
活動指標①	年度当たりの成東304号線道路改良延長				m	360	100			
活動指標②	年度当たりの道路用地買収面積				㎡	1,514	0			
成果指標①	成東304号線道路改良済延長				m	360	360			
成果指標②										
事業費					当初予算	千円	65,300	80,206		
					平成26年度繰越額	千円		44,973		

実施計画事業名			成東259号線道路改良事業					[1762]		
政策名	01	暮らしを支える快適なまちづくり			担当部課	都市建設部 土木課				
施策名	01	道路網の整備・充実			事業区分	継続事業				
基本事業名	01	幹線道路の整備と維持管理			計画年度	平成25年度～				
1 対象（誰、何に対して事業を行うのか）					2 事業概要・全体計画					
市民、市道成東259号線					道路の拡幅と歩道や側溝の設置により、道路機能を充実することで、利用者の安全と利便性の向上を図ります。 整備内容 延長 1200m 幅員11m 平成25年度 交差点部詳細設計 平成26年度 用地測量・用地買収13% 工事11% 平成27年度 用地買収40%【53%】 工事6%【17%】 平成28年度 用地買収43%【100%】 工事33%【50%】 平成29年度 工事25%【75%】 平成30年度 工事25%【100%】					
3 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）										
道路利用者の安全性を確保し、利便性を向上します。										
指標・事業費の推移					単位	H26年度当初	H27年度計画	H28年度計画	H29年度計画	
区 分	指 標 名 称									
活動指標①	年度当たりの市道成東259号線道路改良延長				m	132	72	396	300	
活動指標②	年度当たりの道路用地買収面積				m ²	1,482	4,560	5,358	0	
成果指標①	市道成東259号線道路改良済延長				m	132	204	600	900	
成果指標②										
事業費					当初予算	千円	100,000	155,940	200,000	100,000
					平成26年度繰越額	千円		40,766		

実施計画事業名		上横地・松ヶ谷線外防災ネットワーク道路整備事業				[1796]		
政策名	01	暮らしを支える快適なまちづくり		担当部課	都市建設部 土木課			
施策名	01	道路網の整備・充実		事業区分	継続事業			
基本事業名	01	幹線道路の整備と維持管理		計画年度	平成26年度～平成30年度			
1 対象（誰、何に対して事業を行うのか）				2 事業概要・全体計画				
成東地区の海岸周辺市民 防災活動従事者				既存道路の拡幅等により、木戸川河口の周辺地域を含む緑海地区と防災拠点である成東総合運動公園へのアクセス道路を整備します。				
3 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）				整備内容 L=1.8km W=9.5m 総事業費 359,000千円 平成26年度 用地測量、設計 平成27年度 用地買収 平成28年度 用地買収、工事着手 平成30年度 工事完了				
被災地における迅速かつ効果的な災害対応が実現されます。								
指標・事業費の推移				単位	H26年度当初	H27年度計画	H28年度計画	H29年度計画
区 分	指 標 名 称							
活動指標①	年度当たりの道路改良延長			m	0	0	600	600
活動指標②	関係機関との協議回数			回	2	2	2	2
成果指標①	市道改良済み延長			m	0	0	600	1,200
成果指標②								
事業費			当初予算	千円	44,900	22,900	122,100	84,800
			平成26年度繰越額	千円		30,323		

実施計画事業名			蓮沼ホ・蓮沼イ線外防災ネットワーク道路整備事業				[1797]		
政策名	01	暮らしを支える快適なまちづくり			担当部課	都市建設部 土木課			
施策名	01	道路網の整備・充実			事業区分	継続事業			
基本事業名	01	幹線道路の整備と維持管理			計画年度	平成26年度～平成30年度			
1 対象（誰、何に対して事業を行うのか）					2 事業概要・全体計画				
蓮沼地区の海岸周辺市民 防災活動従事者					既存道路の拡幅等により、蓮沼地域（殿下・川下地区）と防災拠点である蓮沼出張所へのアクセス道路を整備します。				
3 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）					整備内容 L=1.6km W=10.0m 総事業費 452,000千円 平成26年度 用地測量、設計 平成27年度 用地買収 平成28年度 工事着手 平成30年度 工事完了予定				
被災地における迅速かつ効果的な災害対応が実現されます。									
指標・事業費の推移					単位	H26年度当初	H27年度計画	H28年度計画	H29年度計画
区 分	指 標 名 称								
活動指標①	年度当たりの市道改良延長				m	0	0	530	530
活動指標②	関係機関との協議回数				回	2	2	2	2
成果指標①	市道改良済み延長				m	0	0	530	1,060
成果指標②									
事業費				当初予算	千円	40,300	16,300	132,000	132,000
				平成26年度繰越額	千円		22,214		

実施計画事業名		橋梁長寿命化修繕事業					[1826]		
政策名	01	暮らしを支える快適なまちづくり			担当部課	都市建設部 土木課			
施策名	01	道路網の整備・充実			事業区分	新規事業			
基本事業名	01	幹線道路の整備と維持管理			計画年度	平成27年度 ～ 平成36年度			
1 対象（誰、何に対して事業を行うのか）					2 事業概要・全体計画				
市の管理する橋梁 市道利用者					市で管理する橋梁について、策定した長寿命化修繕計画に基づき計画的に補修工事を実施します。 道路交通の安全性を確保するため、目視等の点検を実施し、計画見直しを行います。				
3 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
適正な橋梁の維持補修を行い橋梁の機能を保全することで、通行者の安全が確保されます。									
指標・事業費の推移					単位	H26年度当初	H27年度計画	H28年度計画	H29年度計画
区 分	指 標 名 称								
活動指標①	年間橋梁修繕件数				件		1	2	11
活動指標②									
成果指標①	橋梁の管理瑕疵に起因する損害賠償件数				件		0	0	0
成果指標②									
事業費				当初予算	千円		60,000	70,090	67,070
				平成26年度繰越額	千円				

実施計画事業名		成東４３号線道路改良事業				[611]		
政策名	01	暮らしを支える快適なまちづくり		担当部課	都市建設部 土木課			
施策名	01	道路網の整備・充実		事業区分	継続事業			
基本事業名	02	生活道路の整備と維持管理		計画年度	平成19年度 ～ 平成27年度			
1 対象（誰、何に対して事業を行うのか）				2 事業概要・全体計画				
市民 市道和田東町線 ※H25.4より【成東43号線】				道路の拡幅と歩道や側溝の設置により道路機能を充実することで、道路利用者の安全と利便性の向上を図ります。 道路の概要（現状） 山武市和田地先（主要地方道成東酒々井線） ～山武市津辺地先（成東駅）				
3 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）				総延長 421m 幅員 3.0m 整備内容 L=480m W=10.0m(車道W=7.5m歩道W=2.5m) 平成25年度 用地買収・物件補償 平成26年度 物件補償・工事費・現場管理業務 平成27年度 道路改良工事				
道路利用者の安全性を確保し、利便性を向上を図ります。								
指標・事業費の推移				単位	H26年度当初	H27年度計画	H28年度計画	H29年度計画
区 分	指 標 名 称							
活動指標①	用地交渉回数			回	7	0		
活動指標②	関係機関（ＪＲ・警察）との協議回数			回	0	1		
成果指標①	成東４３号線道路改良済延長			m	350	480		
成果指標②	用地買収面積			㎡	2,212	0		
事業費			当初予算	千円	91,500	60,000		
			平成26年度繰越額	千円		41,458		

実施計画事業名		南郷１６０号線道路改良事業				[1665]		
政策名	01	暮らしを支える快適なまちづくり		担当部課	都市建設部 土木課			
施策名	01	道路網の整備・充実		事業区分	継続事業			
基本事業名	02	生活道路の整備と維持管理		計画年度	平成25年度 ～ 平成27年度			
1 対象（誰、何に対して事業を行うのか）				2 事業概要・全体計画				
市民、市道小泉1号線外				道路の拡幅と歩道や側溝の設置により道路機能を充実することで、利用者の安全と利便性の向上を図ります。 道路の概要（現状） W=3.0m 山武市白幡地先（県道成東鳴浜線） ～山武市白幡地先(富口井之内岡線) 整備内容 L=370m W=8.0m 平成25年度 路線・設計・土質調査 L=370m 平成26年度 用地測量・不動産鑑定 用地買収360㎡(120m*3m)道路改良工事 L=250m 平成27年度 道路改良工事 L=120m(用買部分)				
3 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）								
道路利用者の安全性を確保し、利便性を向上します。								
指標・事業費の推移				単位	H26年度当初	H27年度計画	H28年度計画	H29年度計画
区 分	指 標 名 称							
活動指標①	南郷１６０号線道路改良延長			m	250	180		
活動指標②	年度当たりの道路用地買収面積			㎡	360	0		
成果指標①	南郷１６０号線道路改良済延長			m	250	370		
成果指標②								
事業費			当初予算	千円	48,600	65,138		
			平成26年度繰越額	千円		28,592		

実施計画事業名			道路維持補修事業					[628]	
政策名	01	暮らしを支える快適なまちづくり			担当部課		都市建設部 土木課		
施策名	01	道路網の整備・充実			事業区分		継続事業		
基本事業名	99	施策の総合推進			計画年度		～		
1 対象（誰、何に対して事業を行うのか）					2 事業概要・全体計画				
市の管理する道路 市道利用者					日常の道路パトロール、自治会要望、市民通報等により補修箇所を把握して、舗装、道路側溝、道路施設等の適正な維持補修を実施します。 簡易な補修については職員が対応し、それ以外については業者施工となります。 区等要望・市民通報から実施までの流れ 現地調査→補修方法の検討→補修内容により設計→実施 自治会等で実施する側溝清掃、道路補修については、重機等の貸出しや原材料の支給を行います。				
3 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
適正な道路の維持補修を行い道路の機能を保全することで、通行者の安全が確保されます。									
指標・事業費の推移					単位	H26年度当初	H27年度計画	H28年度計画	H29年度計画
区 分	指 標 名 称								
活動指標①	年間道路維持・修繕件数				件	280	350	350	350
活動指標②	年間舗装修繕・合材舗装件数				件	50	50	50	50
成果指標①	道路の管理瑕疵に起因する損害賠償件数				件	0	0	0	0
成果指標②									
事業費				当初予算	千円	195,000	218,735	240,000	240,000
				平成26年度繰越額	千円				

実施計画事業名			身近な公共交通確保事業			[102]		
政策名	01	暮らしを支える快適なまちづくり		担当部課	総務部 企画政策課			
施策名	02	公共交通網の整備・充実		事業区分	継続事業			
基本事業名	02	市内における交通手段の確保		計画年度	平成18年度～			
1 対象（誰、何に対して事業を行うのか）				2 事業概要・全体計画				
市民				○いつまでも誰もが便利に利用できる公共交通体系の確立を目指し、平成25年4月1日から本格運行を実施しています。 ・基幹バス(蓮沼海浜公園⇄さんぶの森元気館) 運行日：全日(年末年始を除く) 運行台数：2台 料金：1回200円(中学生未満半額、小学生未満無料) ・乗合タクシー(蓮沼・松尾地域、山武地域、成東地域) 運行日：全日(年末年始を除く) 運行台数：平日9台、土日祝日5台 料金：1回300円(中学生未満半額、小学生未満無料) ※本格運行後も引き続き、運行計画の改善を実施します。 ※平成27年度は、地方創生関連交付金（平成26年度からの繰越）を活用し、公共交通マップの作成を予定しています。				
3 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）								
・交通過疎地域における交通弱者の日常の交通手段が確保されます。 ・市民の日常生活の移動手段が確保されます。								
指標・事業費の推移				単位	H26年度当初	H27年度計画	H28年度計画	H29年度計画
区 分	指 標 名 称							
活動指標①								
活動指標②	基幹バス・乗合タクシー年間運行延回数			回	50,000	50,000	50,000	50,000
成果指標①								
成果指標②	基幹バス・乗合タクシー1日当たりの利用者数			人	250	250	250	250
事業費			当初予算	千円	85,036	65,162	65,162	65,162
			平成26年度繰越額	千円		2,754		

実施計画事業名			空港シャトルバス利用促進事業					[105]	
政策名	01	暮らしを支える快適なまちづくり			担当部課	総務部 企画政策課			
施策名	02	公共交通網の整備・充実			事業区分	継続事業			
基本事業名	03	バスでの主要都市へのアクセス向上			計画年度	平成13年度 ～			
1 対象（誰、何に対して事業を行うのか）					2 事業概要・全体計画				
市民 芝山鉄道延伸連絡協議会					空港シャトルバスは、芝山鉄道延伸連絡協議会（山武市、芝山町及び横芝光町で構成）が実施する事業で、成田国際空港と九十九里地域を結ぶバス路線を確保・充実することにより、地域住民の交通の利便性向上を図る目的に運行しています。 ＜バスの運行ルート等＞ 空港第2旅客ターミナル～横芝屋形海岸 停留所17箇所（うち山武市内9箇所） 大型バス2台で1日往復12便 乗車料金：1回300円（中学生以上） ※子供（小学校6年生まで）及び障害者手帳持参の方150円 ※保護者同伴の乳幼児は無料 ＜ICカード利用の場合＞ 乗車料金：1回270円（中学生以上） ※子供（小学校6年生まで）及び障害者手帳持参の方135円				
3 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
市内と成田国際空港間の交通利便性が確保されます。									
指標・事業費の推移					単位	H26年度当初	H27年度計画	H28年度計画	H29年度計画
区 分	指 標 名 称								
活動指標①	年間運行のべ回数				本	8,760	8,760	8,760	8,760
活動指標②	協議会（総会・幹事会）の開催回数				回	4	4	4	4
成果指標①	年間利用者数（山武市内9停留所）				人	41,500	41,500	41,500	41,500
成果指標②									
事業費			当初予算	千円	14,548	16,003	16,039	16,039	
			平成26年度繰越額	千円					

実施計画事業名		防災用備蓄物資整備事業					[1101]			
政策名	01	暮らしを支える快適なまちづくり			担当部課	総務部 消防防災課				
施策名	03	防災・消防対策の充実			事業区分	継続事業				
基本事業名	01	地域防災力の向上			計画年度	～				
1 対象（誰、何に対して事業を行うのか）					2 事業概要・全体計画					
市民（避難者）					災害の発生に備え、避難所で必要となる食料、飲料水、生活必需品等の物資を市内の小中学校等の備蓄倉庫へ備蓄します。 また、賞味期限が近い備蓄食料や飲料水については、防災訓練等で配布して有効活用します。					
3 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）					8月 既存備蓄物資の保存期限確認作業・備蓄物資の選定 9月 備蓄物資数量の決定 10月 備蓄物資の購入契約 12月 備蓄物資の納品・検査					
災害時に避難者へ供給する食料、飲料水、生活必需品等が確保されます。										
指標・事業費の推移					単位	H26年度当初	H27年度計画	H28年度計画	H29年度計画	
区 分	指 標 名 称									
活動指標①	保存食備蓄量（当該年度アルファ米購入分）				食	1,000	3,300	3,000	3,000	
活動指標②	飲料水備蓄量（当該年度ペットボトル購入分）				ℓ	2,000	2,640	2,400	2,400	
成果指標①	年度末保存食備蓄量（アルファ米）				食	12,750	16,050	13,800	15,900	
成果指標②	年度末飲料水備蓄量（飲料水兼用貯水槽+ペットボトル）				ℓ	220,668	223,308	211,536	212,720	
事業費					当初予算	千円	2,533	2,610	2,600	2,600
					平成26年度繰越額	千円				

実施計画事業名			防災資器材整備事業					[1567]	
政策名	01	暮らしを支える快適なまちづくり			担当部課	総務部 消防防災課			
施策名	03	防災・消防対策の充実			事業区分	継続事業			
基本事業名	01	地域防災力の向上			計画年度	平成23年度 ～			
1 対象（誰、何に対して事業を行うのか）					2 事業概要・全体計画				
職員・市民					＜平成27年度事業計画＞ 職員用防災ヘルメットの購入（100個） ・旧町村時代に購入した要交換ヘルメット数（240個） ・新規貸与（臨時職員） カセットガス発電機（7台） 木造防災備蓄倉庫の設置（1か所）				
3 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
災害に備え、防災用品や設備を整備することにより、防災力が向上します。									
指標・事業費の推移					単位	H26年度当初	H27年度計画	H28年度計画	H29年度計画
区 分	指 標 名 称								
活動指標①	購入した資器材の種類				種類		3	5	5
活動指標②									
成果指標①	備蓄倉庫内に配置した備蓄品の種類				種類		35	36	37
成果指標②	主要な資器材を備蓄する防災倉庫の割合				%		88	92	96
事 業 費				当初予算	千円	11,911	3,856	1,600	1,600
				平成26年度繰越額	千円				

実施計画事業名		防災行政無線子局整備事業					[1570]			
政策名	01	暮らしを支える快適なまちづくり			担当部課	総務部 消防防災課				
施策名	03	防災・消防対策の充実			事業区分	継続事業				
基本事業名	01	地域防災力の向上			計画年度	平成24年度 ～ 平成27年度				
1 対象（誰、何に対して事業を行うのか）					2 事業概要・全体計画					
市民					東日本大震災に伴い、正確な情報伝達・収集が必須となります。そこで、情報伝達が困難な地域に関しては整備充実を図っていきます。ただし、地域住民の合意形成が条件となります。					
3 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）					【現行子局設置箇所数 H26. 4. 1 現在】					
災害時における情報を、迅速かつ正確に市民に伝達し、人命や財産の被害を最小限にくい止めます。					成東地区：71局 山武地区：25局 蓮沼地区：16局 松尾地区：12局 平成27年度は松尾町松尾地区に設置					
指標・事業費の推移					単位	H26年度当初	H27年度計画	H28年度計画	H29年度計画	
区 分	指 標 名 称									
活動指標①	新設子局箇所数				箇所	1	1			
活動指標②										
成果指標①	総箇所数				箇所	125	126			
成果指標②										
事 業 費					当初予算	千円	5,292	6,354		
					平成26年度繰越額	千円				

実施計画事業名			木造防災備蓄倉庫実証実験調査事業					[1874]	
政策名	01	暮らしを支える快適なまちづくり			担当部課	総務部 消防防災課			
施策名	03	防災・消防対策の充実			事業区分	新規事業			
基本事業名	01	地域防災力の向上			計画年度	平成26年度 ～ 平成27年度			
1 対象（誰、何に対して事業を行うのか）					2 事業概要・全体計画				
市民					サンプスギを使用した防災備蓄倉庫の実用性を調査するため、モデル的に木造備蓄倉庫を建築し検証する。				
3 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）					検証項目 （耐久性、耐火性、室内環境（温度・湿度）、コスト）				
サンプスギで造られた防災備蓄倉庫のモデルの確立により、災害時への備えと併せ、地域資源の利用により地域活力が向上します。					※平成27年度は、地方創生関連交付金（平成26年度からの繰越）を活用した事業実施を予定しています。				
指標・事業費の推移					単位	H26年度当初	H27年度計画	H28年度計画	H29年度計画
区 分	指 標 名 称								
活動指標①	検証項目数				項目		5		
活動指標②									
成果指標①	検証結果が「適」の項目数				項目		5		
成果指標②									
事業費			当初予算		千円				
			平成26年度繰越額		千円		540		

実施計画事業名			木造住宅耐震化促進事業			[641]		
政策名	01	暮らしを支える快適なまちづくり		担当部課	都市建設部 都市整備課			
施策名	03	防災・消防対策の充実		事業区分	継続事業			
基本事業名	04	防災意識の向上		計画年度	平成20年度 ～ 平成27年度			
1 対象（誰、何に対して事業を行うのか）				2 事業概要・全体計画				
新耐震基準（昭和56年）以前に建てられた木造住宅所有者（市民）				新耐震基準（昭和56年）以前に建築された木造住宅に対する耐震診断及び耐震改修の経費の一部を補助を行います。				
3 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）				事業計画期間 平成22年度～平成27年度まで 事業項目 ①木造住宅耐震診断補助事業 ・昭和56年以前に建築された木造住宅 ・補助は経費の2/3以内（上限6万円） ②木造住宅耐震改修工事補助事業 ・①の耐震診断で「やや危険」又は「危険」判定された住宅 ・補助は経費の1/3以内（上限50万円） ③HP及び広報等で周知を行います。				
新耐震基準（昭和56年）以前に建てられた木造住宅の耐震化が促進されます。								
指標・事業費の推移				単位	H26年度当初	H27年度計画	H28年度計画	H29年度計画
区 分	指 標 名 称							
活動指標①	耐震診断補助金申請件数			件	5	5		
活動指標②	耐震改修工事補助金申請件数 ※23年度までは個別相談会の開催数（回）			件	5	5		
成果指標①	耐震診断実施棟数			棟	5	5		
成果指標②	耐震改修工事完了棟数 ※23年度までは個別相談者数（人）			人	5	5		
事 業 費			当初予算	千円	2,800	2,240		
			平成26年度繰越額	千円				

実施計画事業名			自主防災組織育成事業				[1072]	
政策名	01	暮らしを支える快適なまちづくり		担当部課	総務部 消防防災課			
施策名	03	防災・消防対策の充実		事業区分	継続事業			
基本事業名	04	防災意識の向上		計画年度	～			
1 対象（誰、何に対して事業を行うのか）				2 事業概要・全体計画				
区、自治会 自主防災組織				いざ災害が起こったときに「自分たちのまちは自分たちで守る」という地域住民の自衛意識と連帯感に基づいて、区会、自治会単位で自主的に活動する組織の結成を促進します。 結成した自主防災組織を対象に千葉県自主防災組織緊急設置促進事業補助金を使用し1組織当たり50万円を限度に必要な資機材の購入費に補助金を交付します。 自主防災組織の活動費として、年間5万円を限度に交付します。 自主防災組織のメンバーやボランティア精神旺盛な市民に防災士資格を取得してもらい、市内防災力の向上を図ります。				
3 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）								
災害発生時に自分たちの地域の災害復旧活動ができます。								
指標・事業費の推移				単位	H26年度当初	H27年度計画	H28年度計画	H29年度計画
区 分	指 標 名 称							
活動指標①	関係機関（区長連合会、区、自治会）説明回数			回	3	1	1	1
活動指標②	交付対象組織数			セット	7	5	4	4
成果指標①	新規結成自主防災組織数（当該年度）			組織	5	5	4	4
成果指標②	資機材整備組織数（合計）			組織	51	56	60	64
事 業 費			当初予算	千円	13,460	4,055	3,910	3,910
			平成26年度繰越額	千円				

実施計画事業名			コミュニティ消防センター設置事業				[1073]	
政策名	01	暮らしを支える快適なまちづくり		担当部課	総務部 消防防災課			
施策名	03	防災・消防対策の充実		事業区分	継続事業			
基本事業名	06	消防力の充実		計画年度	～			
1 対象（誰、何に対して事業を行うのか）				2 事業概要・全体計画				
市民 コミュニティ消防センター				地域住民の防災意識の高揚、災害時における活動の拠点及びコミュニケーション育成の場等に活用するため、地域の防災・災害活動拠点施設として整備を図ります。				
3 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）				平成27年度 横田地区(第6分団第2部) 平成28年度 松尾町蕪木、金尾地区(第12分団第2部)				
災害時における活動の拠点及びコミュニケーション育成の場が整備されます。								
指標・事業費の推移				単位	H26年度当初	H27年度計画	H28年度計画	H29年度計画
区 分	指 標 名 称							
活動指標①	コミュニティ消防センター整備箇所数（当該年度）			箇所	2	1	1	
活動指標②								
成果指標①	コミュニティ消防センター整備箇所数（累計）			箇所	32	33	34	
成果指標②	コミュニティ消防センター整備割合			%	68	70.2	72.3	
事 業 費			当初予算	千円	19,754		12,360	
			平成26年度繰越額	千円				

実施計画事業名		成東駅南側駅前広場整備事業					[1547]	
政策名	01	暮らしを支える快適なまちづくり		担当部課	都市建設部 都市整備課			
施策名	04	都市の整備		事業区分	継続事業			
基本事業名	02	駅周辺の利便性の向上		計画年度	平成24年度 ～ 平成28年度			
1 対象（誰、何に対して事業を行うのか）				2 事業概要・全体計画				
成東駅南側駅前広場				駅前広場及び周辺道路の交通安全性及び駅周辺の街なみの快適性を向上します。 1. 成東駅南側駅前広場の整備 面積 約3,600㎡、買収面積 約2,937㎡、筆数 20筆 H24 都市計画事業認可の取得、測量、基本設計等の実施 H25 土地・物件調査、用地・物件補償、実施設計等の実施 H26 用地・物件補償、電線共同溝設計等の実施 H27、H28 工事、事後評価の実施 2. まちづくり協議会の運営 H24 まちづくり協議会の発足、年間6回開催 H25 年間6回開催 H26 年間6回開催				
3 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）								
駅前広場及び周辺道路の交通安全性及び快適性を向上させられます。 駅周辺の街なみの快適性を向上させられます。								
指標・事業費の推移				単位	H26年度当初	H27年度計画	H28年度計画	H29年度計画
区 分	指 標 名 称							
活動指標①	年度当たりの整備率（事業費ベース）			%	100	100	100	
活動指標②	まちづくり市民活動の回数			回	6	6	6	
成果指標①	満足度			%	45	47	49	
成果指標②	全体整備率（事業費ベース）			%	77.2	69.9	100	
事 業 費		当初予算		千円	189,380	159,191	252,888	
		平成26年度繰越額		千円				

実施計画事業名		成東駅南口線整備促進事業				[1548]			
政策名	01	暮らしを支える快適なまちづくり		担当部課	都市建設部 都市整備課				
施策名	04	都市の整備		事業区分	継続事業				
基本事業名	02	駅周辺の利便性の向上		計画年度	平成24年度 ～ 平成30年度				
1 対象（誰、何に対して事業を行うのか）				2 事業概要・全体計画					
都市計画道路				成東駅南口線(千葉県事業)の交通安全性及び快適性を向上します。 1. 成東駅南口線の整備 延長 約300m、幅員18m 買収面積 4,400㎡ 筆数 52筆 H24 都市計画事業認可の取得 測量、詳細設計業務の実施 H25～H29 用地・物件調査、補償の実施 H25 電線共同溝予備設計 H27 電線共同溝詳細設計 H28～H30 工事の実施					
3 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
利便性の向上が図られます。									
指標・事業費の推移				単位	H26年度当初	H27年度計画	H28年度計画	H29年度計画	
区 分	指 標 名 称								
活動指標①	年度当たりの整備率（事業費ベース）			%	100	100	100	100	
活動指標②									
成果指標①	満足度			%	45	47	49	50	
成果指標②	全体整備率（事業費ベース）			%	44.88	67.6	77.4	94	
事 業 費				当初予算	千円	76,905	71,424	33,000	24,575
				平成26年度繰越額	千円				

政策 2 住みやすい環境と安全なまちづくり

【施策】

2-1 生活環境の充実

【基本事業】

2-1-① 生活公害の対策

2-1-② 放射能汚染に関する不安の軽減

2-1-③ 美化運動の推進と不法投棄 防止対策

2-1-④ 航空機騒音等の対策

2-2 廃棄物の減量・処理の適正化

2-2-① ごみの減量化の推進

2-2-② 再資源化の推進

2-2-③ 廃棄物に関する意識の向上と 啓発

2-2-④ ごみ処理の効率化

2-3 自然環境の保全

2-3-① 自然環境保全活動の推進

2-3-② 地球・自然環境保全への取組

2-3-③ バイオマスタウン構想の推進

2-1-④ 再生可能エネルギーの活用と二酸化 炭素排出量の削減

2-4 上水道の充実

2-4-① 安定給水の確保

2-4-② 水質の安全性の確保

2-4-③ 地震等の災害対策

2-4-④ 経営の健全化

2-5 汚水処理の推進

2-5-① 合併処理浄化槽による水質改善

2-5-② 農業集落排水による水質改善

2-6 防犯対策の充実

2-6-① 地域ぐるみの防犯体制の充実

2-6-② 児童・生徒の安全確保

2-6-③ 犯罪がおこりにくい環境に向 けての施設設備の整備

2-6-④ 防犯意識の向上

2-6-⑤ 消費者トラブルの防止

2-7 交通安全対策の推進

2-7-① 交通安全意識の向上

2-7-② 交通安全施設の整備

施策２－１ 生活環境の充実

２－１－① 生活公害の対策

ねらい (めざす姿)	・生活公害に対する意識が高まり、生活公害が減少します。		
基本事業の成果指標	H 2 3 基準値	H 2 9 目標値	実施計画事業
騒音・悪臭・水質汚濁苦情件数（件）	24	40	
犬・猫管理苦情件数（件）	28	50	
野焼き苦情件数（件）	85	60	
空き地の管理（雑草等）苦情件数（件）	174	170	

２－１－② 放射能汚染に関する不安の軽減

ねらい (めざす姿)	・放射能に対する不安を解消します。		
基本事業の成果指標	H 2 3 基準値	H 2 9 目標値	実施計画事業
放射線基準値を超過した地点数（か所）	0	0	
放射能に対する情報提供や対策への満足度（％）	35.3	 (50.0)	

２－１－③ 美化運動の推進と不法投棄防止対策

ねらい (めざす姿)	・不法投棄防止に対する意識が高まるとともに、美化運動が活発化します。		
基本事業の成果指標	H 2 3 基準値	H 2 9 目標値	実施計画事業
産業廃棄物不法投棄件数（件）	6	10	不法投棄防止対策事業 不法投棄パトロール事業
一般廃棄物等不法投棄件数（件）	307	250	
ごみゼロ運動参加者数（人）	19,847	23,000	

２－１－④ 航空機騒音等の対策

ねらい (めざす姿)	・地域住民の騒音による生活公害が軽減します。		
基本事業の成果指標	H 2 3 基準値	H 2 9 目標値	実施計画事業
航空機騒音対策に対する満足度（％）	72.7	 (75.0)	航空機騒音対策空調機器設置事業

施策 2-2 廃棄物の減量・処理の適正化

2-2-① ごみの減量化の推進

ねらい (めざす姿)	・ごみの排出が抑制されます。		
基本事業の成果指標	H 2 3 基準値	H 2 9 目標値	実施計画事業
家庭ごみ排出量 (t)	12,154	11,251	
事業系ごみ排出量 (t)	3,163	2,813	

2-2-② 再資源化の推進

ねらい (めざす姿)	・再資源化が推進されます。		
基本事業の成果指標	H 2 3 基準値	H 2 9 目標値	実施計画事業
回収資源化量 (t)	2,657	2,700	

2-2-③ 廃棄物に関する意識の向上と啓発

ねらい (めざす姿)	・適正なごみの排出と 3R 意識が向上します。		
基本事業の成果指標	H 2 3 基準値	H 2 9 目標値	実施計画事業
ごみ排出指導件数 (件)	26	10	
残置シール貼付件数 (件)	869	767	

2-2-④ ごみ処理の効率化

ねらい (めざす姿)	・効果的効率的なごみ処理がされています。		
基本事業の成果指標	H 2 3 基準値	H 2 9 目標値	実施計画事業
1人当たりの負担金額 (円) (収集料金・ごみ袋代金を含む)	9,519	12,331	

施策 2－3 自然環境の保全

2－3－① 自然環境保全活動の推進

ねらい (めざす姿)	・地域ぐるみで自然環境保全活動が実践されています。		
基本事業の成果指標	H 2 3 基準値	H 2 9 目標値	実施計画事業
自然環境保全活動に参加している団体数 (団体)	31	34	

2－3－② 地球・自然環境保全への取組

ねらい (めざす姿)	・市民に自然の大切さや環境保全の重要性が認識され、地球・自然環境保全への取り組みが向上します。		
基本事業の成果指標	H 2 3 基準値	H 2 9 目標値	実施計画事業
環境にやさしい生活様式平均実践項目数 (項目)	5.14	 (10.0)	
環境学習参加団体数 (団体)	20	20	

2－3－③ バイオマスタウン構想の推進

ねらい (めざす姿)	・バイオマスの利活用により自然環境が保全されます。		
基本事業の成果指標	H 2 3 基準値	H 2 9 目標値	実施計画事業
バイオマスに関する取組みの事業数 (件)	4	 (10)	バイオマス普及事業 木質バイオマス燃料利活用補助事業 ウッド・トイスタート事業

2－3－④ 再生可能エネルギーの活用と二酸化炭素排出量の削減

ねらい (めざす姿)	・クリーンエネルギー等の活用により、地球温暖化防止対策が推進されています。		
基本事業の成果指標	H 2 3 基準値	H 2 9 目標値	実施計画事業
再生可能エネルギーの発電装置の普及 件数 (件)	593	1,022	
再生可能エネルギーの発電装置による 契約発電量 (kw)	2,567	4,599	
市の事務事業により発生する二酸化炭素の量 (t・CO2)	8,174	7,683	

施策２－４ 上水道の充実

２－４－① 安定給水の確保

ねらい (めざす姿)	・ 安定的に水道水を使用できます。		
基本事業の成果指標	H 2 3 基準値	H 2 9 目標値	実施計画事業
漏水事故件数【市営水道】(件)	2	0	
漏水事故件数【広域水道】(件)	31	0	

２－４－② 水質の安全性の確保

ねらい (めざす姿)	・ 衛生的で安全な水道水を使用できます。		
基本事業の成果指標	H 2 3 基準値	H 2 9 目標値	実施計画事業
水質の苦情件数【市営水道】(件)	0	0	
水質の苦情件数【広域水道】(件)	3	0	

２－４－③ 地震等の災害対策

ねらい (めざす姿)	・ 地震等の災害時において、応急給水が受けられます。		
基本事業の成果指標	H 2 3 基準値	H 2 9 目標値	実施計画事業
応急給水資機材の備蓄数【市営水道】 (袋)	1, 100	2, 400	
応急給水資機材の備蓄数【広域水道】 (袋)	6, 166	6, 166	

２－４－④ 経営の健全化

ねらい (めざす姿)	・ 事業経営の健全化に努めることにより、安定的に給水が受けられます。		
基本事業の成果指標	H 2 3 基準値	H 2 9 目標値	実施計画事業
経常収支比率【市営水道】(%)	115. 8	120. 0	
有収率【市営水道】(%)	93. 5	92. 0	
経常収支比率【広域水道】(%)	102. 7	101. 8	
有収率【広域水道】(%)	90. 3	92. 0	

施策 2－5 汚水処理の推進

2－5－① 合併処理浄化槽による水質改善

ねらい (めざす姿)	・ 合併処理浄化槽への切替えにより、公共用水域の水質改善が進みます。		
基本事業の成果指標	H 2 3 基準値	H 2 9 目標値	実施計画事業
くみ取り及び単独処理浄化槽からの切替え件数（件）	37	50	

2－5－② 農業集落排水による水質改善

ねらい (めざす姿)	・ 農業集落排水により、公共用水域の水質改善が進みます。		
基本事業の成果指標	H 2 3 基準値	H 2 9 目標値	実施計画事業
農業集落排水の接続率（％）	56.5	59.0	

施策２－６ 防犯対策の充実

２－６－① 地域ぐるみの防犯体制の充実

ねらい (めざす姿)	・地域住民・警察・行政が一体となった防犯活動が展開され、犯罪がおきにくくなっています。		
基本事業の成果指標	H 2 3 基準値	H 2 9 目標値	実施計画事業
防犯活動を行っている区・自治会や団体の数（団体）	25	27	
防犯活動を行っている協力者数（人）	591	600	

２－６－② 児童・生徒の安全確保

ねらい (めざす姿)	・学校・家庭・地域・警察・行政が連携し、児童生徒の事件・事故を未然に防いでいます。		
基本事業の成果指標	H 2 3 基準値	H 2 9 目標値	実施計画事業
登下校時における児童生徒の事件・事故件数（件）	6	5	

２－６－③ 犯罪がおこりにくい環境に向けての施設設備の整備

ねらい (めざす姿)	・犯罪をおこそうとする者に犯罪の機会を与えない施設設備となっています。		
基本事業の成果指標	H 2 3 基準値	H 2 9 目標値	実施計画事業
防犯灯設置要望対応率（％）	98.6	90.0	L E D防犯灯整備事業
L E D防犯灯設置率（％）	35.4	100.0	
防犯カメラの設置台数（台）	13	20	

２－６－④ 防犯意識の向上

ねらい (めざす姿)	・防犯に対する市民の知識や意識が向上し、犯罪に巻き込まれにくくなっています。		
基本事業の成果指標	H 2 3 基準値	H 2 9 目標値	実施計画事業
犯罪に対する備えの平均実践項目数（項目）	2.30	 (2.50)	
犯罪に対する備えの意識を家・自動車・バイク・自転車の施錠を行っている割合（％）	99.0	100.0	

2-6-⑤ 消費者トラブルの防止

ねらい (めざす姿)	・賢い消費者が増え、消費者トラブルが減少しています。		
基本事業の成果指標	H 2 3 基準値	H 2 9 目標値	実施計画事業
消費者相談件数（件）	380	 (450)	
消費者トラブルにあった市民の割合 (%)	3.9	 (3.0)	

施策２－７ 交通安全対策の推進

２－７－① 交通安全意識の向上

ねらい (めざす姿)	・ 市民一人ひとりの交通安全意識が高まり、交通マナーが守られます。		
基本事業の成果指標	H 2 3 基準値	H 2 9 目標値	実施計画事業
交通ルールを遵守している市民割合 (%)	—	—	
シートベルト着用率 (%)	95.6	96.0	

２－７－② 交通安全施設の整備

ねらい (めざす姿)	・ 交通安全施設が適正に管理・整備され、事故がおきにくくなります。		
基本事業の成果指標	H 2 3 基準値	H 2 9 目標値	実施計画事業
交通安全施設の改善・設置に対する要望対応率 (%)	93.0	 (97.0)	

実施計画事業名		不法投棄防止対策事業					[585]	
政策名	02	住みやすい環境と安全なまちづくり		担当部課	経済環境部 環境保全課			
施策名	01	生活環境の充実		事業区分	継続事業			
基本事業名	03	美化運動の推進と不法投棄防止対策		計画年度	～			
1 対象（誰、何に対して事業を行うのか）				2 事業概要・全体計画				
市民				不法投棄監視員（25名）を委嘱し、不法投棄監視パトロール等の実施により不法投棄の未然防止に努める。（定数25名、月5,000円任期2年）				
3 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）				監視カメラを設置し不法投棄行為者の特定や抑制を図ります。				
地域に密着した活動により不法投棄が抑制されます。				不法投棄監視員会議を開催します。				
指標・事業費の推移				単位	H26年度当初	H27年度計画	H28年度計画	H29年度計画
区 分	指 標 名 称							
活動指標①	不法投棄監視員会議			回	2	2	2	2
活動指標②	パトロール回数			回	1,200	1,200	1,200	1,200
成果指標①	不法投棄監視員活動報告書による異常あり件数			件	70	70	70	70
成果指標②								
事業費			当初予算	千円	2,649	2,326	2,415	2,415
			平成26年度繰越額	千円				

実施計画事業名		不法投棄パトロール事業				[586]		
政策名	02	住みやすい環境と安全なまちづくり		担当部課	経済環境部 環境保全課			
施策名	01	生活環境の充実		事業区分	継続事業			
基本事業名	03	美化運動の推進と不法投棄防止対策		計画年度	～			
1 対象（誰、何に対して事業を行うのか）				2 事業概要・全体計画				
市民				不法投棄パトロールを山武市シルバー人材センターへ委託します。 特に集落がない道路のボイ捨てが多い場所での環境美化パトロール及びゴミ拾いを実施します。				
3 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）								
公有地（道路等）の不法投棄を早期に回収することで、市内の環境美化を保ちます。								
指標・事業費の推移				単位	H26年度当初	H27年度計画	H28年度計画	H29年度計画
区 分	指 標 名 称							
活動指標①	連絡調整会議			回	2	2	2	2
活動指標②	不法投棄パトロール日数			日	244	243	244	244
成果指標①	収集したごみ量（袋数）			袋	6,950	6,950	6,950	6,950
成果指標②								
事 業 費			当初予算	千円	8,646	8,611	8,726	8,726
			平成26年度繰越額	千円				

実施計画事業名		航空機騒音対策空調機器設置事業					[1766]			
政策名	02	住みやすい環境と安全なまちづくり			担当部課	総務部 企画政策課				
施策名	01	生活環境の充実			事業区分	継続事業				
基本事業名	04	航空機騒音等の対策			計画年度	平成26年度 ～ 平成28年度				
1 対象（誰、何に対して事業を行うのか）					2 事業概要・全体計画					
対象区域：合併前の旧蓮沼村区域及び旧松尾町区域の全域 基準日及び対象者：平成26年4月1日時点で市の住民基本台帳に登録されている者 対象住宅：基準日時点で対象区域に所在する住宅（賃貸住宅は除く）ただし、他からの空調機設置に対する助成を受けた住宅は除く					成田空港の離発着機による騒音の影響を軽減するため、住宅所有者が当該住宅に空調機器を設置する工事を実施した場合、補助金を交付します。 実施期間 平成26年度～平成28年度（3ヶ年計画） 補助金額 1台あたり50千円 ※工事が50千円に満たない場合は、その金額 ※工事が50千円を超えた場合、超えた金額は実施者負担 補助対象経費 空調機器設置工事に係る経費(1世帯1台) 補助対象世帯 4,304世帯（松尾区域 2,728世帯） （蓮沼区域 1,576世帯） 全体事業費 162,270千円 （平成26年度事業費 80,326千円） （平成27年度事業費 35,363千円） （平成28年度事業費 46,581千円）					
3 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）										
航空機騒音対策に対する満足度が向上します。										
指標・事業費の推移					単位	H26年度当初	H27年度計画	H28年度計画	H29年度計画	
区 分	指 標 名 称									
活動指標①	補助金額				円	77,500	32,300	43,550		
活動指標②										
成果指標①	空調機器補助台数（単年度）				件	1,550	646	871		
成果指標②										
事業費					当初予算	千円	80,326	35,363	46,581	0
					平成26年度繰越額	千円				

実施計画事業名		バイオマス普及事業					[443]	
政策名	02	住みやすい環境と安全なまちづくり		担当部課	経済環境部 わがまち活性課			
施策名	03	自然環境の保全		事業区分	継続事業			
基本事業名	03	バイオマスタウン構想の推進		計画年度	平成20年度 ～			
1 対象（誰、何に対して事業を行うのか）				2 事業概要・全体計画				
市民 市内の小中学生				市内に存在する木質資源を使った木質バイオマスラシック製品（玩具、文具など）を、小中学校等の環境学習活動時、市主催のイベント時、県内外からの視察団等の来市時に配布し、バイオマス利用についての普及、啓発活動を積極的に行います。 また、バイオマス体験教室等を開催します。 ○バイオマス体験教室、里山シンポジウム ・バイオマス体験棟を活用し、バイオマス体験等の教室を開催します。 ・資源循環と持続可能な地域作りをテーマにシンポジウムを開催します。 ○啓発物品 ・木質ラシック製品（玩具・文具など原価200円程）を購入 ・カブト製名刺台紙加工 500組（100枚/組） ・カブト製グッズ 他 ※平成27年度は、地方創生関連交付金（平成26年度からの繰越）を活用し、里山シンポジウムの開催を予定しています。				
3 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）								
地域バイオマス資源の利活用に関する理解と認識が高まります。								
指標・事業費の推移				単位	H26年度当初	H27年度計画	H28年度計画	H29年度計画
区 分	指 標 名 称							
活動指標①	啓発活動開催数			回	10	10	10	10
活動指標②								
成果指標①	地域環境保全活動に取り組んだ小中学生数			人	400	400	400	400
成果指標②								
事業費			当初予算	千円	1,839	1,568	1,568	1,568
			平成26年度繰越額	千円		300		

実施計画事業名		木質バイオマス燃料利活用補助事業					[1269]	
政策名	02	住みやすい環境と安全なまちづくり		担当部課	経済環境部 わがまち活性課			
施策名	03	自然環境の保全		事業区分	継続事業			
基本事業名	03	バイオマスタウン構想の推進		計画年度	平成22年度 ～			
1 対象（誰、何に対して事業を行うのか）				2 事業概要・全体計画				
世帯				木質バイオマス資源のエネルギー利用推進のため、木質ペレットや薪使用のストーブ、ペレットボイラーの購入者に対し、購入設置費用の1/2の額について補助金を交付します。 ○対象者 個人（住民登録者） 法人又は団体（平成23年4月1日追加改正） ○補助金上限額（平成23年4月1日上限額改正） ○バイオマスボイラー 20万円 ○ストーブ ・ペレットストーブ 15万円 ・薪ストーブ 10万円 ○啓発周知 ホームページ、広報紙への掲載 市内建築業者への周知（訪問）				
3 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）				○補助金上限額（平成23年4月1日上限額改正） ○バイオマスボイラー 20万円 ○ストーブ ・ペレットストーブ 15万円 ・薪ストーブ 10万円 ○啓発周知 ホームページ、広報紙への掲載 市内建築業者への周知（訪問）				
未利用木質バイオマスの燃料利用が増加します。								
指標・事業費の推移				単位	H26年度当初	H27年度計画	H28年度計画	H29年度計画
区 分	指 標 名 称							
活動指標①	啓発実施回数			回	3	3	3	3
活動指標②								
成果指標①	補助件数			件	14	13	13	13
成果指標②								
事 業 費			当初予算	千円	1,900	1,750	1,750	1,750
			平成26年度繰越額	千円				

実施計画事業名			ウッド・トイスタート事業				[1818]	
政策名	02	住みやすい環境と安全なまちづくり		担当部課	経済環境部 わがまち活性課			
施策名	03	自然環境の保全		事業区分	新規事業			
基本事業名	03	バイオマスタウン構想の推進		計画年度	平成26年度 ～			
1 対象（誰、何に対して事業を行うのか）				2 事業概要・全体計画				
市内乳幼児及び保護者				地域材である山武杉を活用した積み木を調査開発し、市内乳幼児に配布することで、身近な木に触れる環境を提供し、森を思う気持ちを育てるものです。 ○市内産材を活用した積み木の研究開発 ○市内産材を活用した積み木の購入及び配布 配布方法：1歳6か月検診等での配布 ○配布対象者に対するアンケート調査 調査方法：1歳6か月検診等での調査 ※平成27年度は、地方創生関連交付金（平成26年度からの繰越）を活用した事業実施を予定しています。				
3 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）								
地域の自然（地域材）と触れ合う機会をつくります。								
指標・事業費の推移				単位	H26年度当初	H27年度計画	H28年度計画	H29年度計画
区 分	指 標 名 称							
活動指標①	市内産材を活用した量			m ³		10	10	10
活動指標②								
成果指標①	積み木を配布した数			件		350	350	350
成果指標②								
事 業 費			当初予算	千円			1,400	1,400
			平成26年度繰越額	千円		2,000		

実施計画事業名			L E D防犯灯整備事業					[1644]	
政策名	02	住みやすい環境と安全なまちづくり			担当部課	市民部 市民課			
施策名	06	防犯対策の充実			事業区分	継続事業			
基本事業名	03	犯罪がおこりにくい環境に向けての施設設備の整備			計画年度	平成24年度 ～			
1 対象（誰、何に対して事業を行うのか）					2 事業概要・全体計画				
・ 市民 ・ 新設防犯灯 ・ 既設防犯灯					・ 夜間の犯罪の発生を抑制し、市民の安全を確保するために各道路及びその周辺にLED灯の新規設置及び修繕を要する防犯灯のLED灯への交換等に積極的に取組みます。 《新設》毎年10月末までに行政区又は自治会の代表者から新規設置要望書を受付→現地調査・検討→年間計画作成→翌年度当初に設置可否決定通知書送付→LED灯設置工事発注 《交換》市民から球切等の連絡→状況により現地調査→LED灯設置工事発注 LED防犯灯設置予定基数 平成27年度 710基				
3 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
・ 夜間における危険個所が解消され、市民の安全が確保されます。									
指標・事業費の推移					単位	H26年度当初	H27年度計画	H28年度計画	H29年度計画
区 分	指 標 名 称								
活動指標①	LED防犯灯年間設置数				基	850	710	745	745
活動指標②	LED防犯灯数（累計）				基	5,446	6,010	6,755	7,500
成果指標①	LED防犯灯設置率（新設、灯具交換）				%	68.9	66.2	68.8	71.0
成果指標②									
事 業 費			当初予算		千円	21,693	20,000	21,790	21,790
			平成26年度繰越額		千円				

政策3 にぎわい豊かな暮らしを創出するまちづくり

【施策】

3-1 農林水産業の振興

【基本事業】

- 3-1-① 担い手の育成・支援
- 3-1-② 農地の利用集積の推進
- 3-1-③ 農産物の付加価値向上と販路の拡大
- 3-1-④ 畜産業の生産規模拡大の推進
- 3-1-⑤ 森林再生の推進
- 3-1-⑥ 農業基盤整備の推進
- 3-1-99 施策の総合推進

3-2 商工業の振興

- 3-2-① 商工会活動の充実
- 3-2-② 市内商店の利用拡大
- 3-2-③ 経営の体質強化・育成
- 3-2-④ 新企業の立地促進
- 3-2-⑤ 雇用の推進

3-3 観光の振興

- 3-3-① 観光事業推進体制の整備
- 3-3-② 観光関連団体との連携によるイベントの開催
- 3-3-③ 海岸の整備
- 3-3-④ 観光資源の開発・充実
- 3-3-⑤ 体験型観光の推進

3-4 シティセールスの充実

- 3-4-① 情報発信力の強化
- 3-4-② 山武市ブランドの確立
- 3-4-③ 魅力あるまちづくりによる定住促進
- 3-4-99 施策の総合推進

施策３－１ 農林水産業の振興

３－１－① 担い手の育成・支援

ねらい (めざす姿)	・経営感覚をもって農業経営に取り組む農業者が増加します。		
基本事業の成果指標	H 2 3 基準値	H 2 9 目標値	実施計画事業
認定農業者数（人）	352	387	認定農業者育成事業
新規就農者数（人）	16	50	

３－１－② 農地の利用集積の推進

ねらい (めざす姿)	・営農規模が拡大し、効率的な経営が可能となり、未利用農地が削減されます。		
基本事業の成果指標	H 2 3 基準値	H 2 9 目標値	実施計画事業
農地利用集積面積（ha）	769.0	923.0	農地利用集積助成事業

３－１－③ 農産物の付加価値向上と販路の拡大

ねらい (めざす姿)	・市内産品の付加価値が高まります。		
基本事業の成果指標	H 2 3 基準値	H 2 9 目標値	実施計画事業
特産品を活用した一次加工品等の開発数（件）	2	10	
新たに６次産業化に取り組む経営体数（件）	—	15	

３－１－④ 畜産業の生産規模拡大の推進

ねらい (めざす姿)	・一経営体の規模拡大による省力化により経営の改善が図られます。		
基本事業の成果指標	H 2 3 基準値	H 2 9 目標値	実施計画事業
一経営体当たり酪農飼養頭数（頭）	50	50	
一経営体当たり養豚飼養頭数（頭）	1,004	1,004	
一経営体当たり養鶏飼養頭数（羽）	54,500	38,867	

3-1-⑤ 森林再生の推進

ねらい (めざす姿)	・ 荒廃した森林が再生し、木材の生産環境が整います。		
基本事業の成果指標	H 2 3 基準値	H 2 9 目標値	実施計画事業
森林整備事業年間実施箇所数（か所）	94	117	市内産木材利用促進事業 木材流通システム助成事業
市補助制度を活用し、搬出された木材量（t）	—	1,591	

3-1-⑥ 農業基盤整備の推進

ねらい (めざす姿)	・ 農業基盤が整備され、効率性・生産性が向上します。		
基本事業の成果指標	H 2 3 基準値	H 2 9 目標値	実施計画事業
国、県等の有利な補助制度を活用した農業基盤整備の受益面積新規事業数（か所）	6	3	多面的機能事業 国営両総土地改良事業

3-1-99 施策の総合推進

実施計画事業	経営所得安定対策推進事業
--------	--------------

施策３－２ 商工業の振興

３－２－① 商工会活動の充実

ねらい (めざす姿)	・商工会により商工業者が支援・育成されます。		
基本事業の成果指標	H 2 3 基準値	H 2 9 目標値	実施計画事業
経営指導支援件数（件）	1,948	2,500	
商工会加入率（％）	51.3	56.0	

３－２－② 市内商店の利用拡大

ねらい (めざす姿)	・消費者ニーズにあった商店となり、市内で買物をする消費者が増えます。		
基本事業の成果指標	H 2 3 基準値	H 2 9 目標値	実施計画事業
市内で日用品や食料品を買う市民の割合（％）	70.3	 (75.0)	プレミアム地域商品券事業 (地方創生)

３－２－③ 経営の体質強化・育成

ねらい (めざす姿)	・商工業者の経営体質が強化され、事業所数が維持されます。		
基本事業の成果指標	H 2 3 基準値	H 2 9 目標値	実施計画事業
市内事業所数（事業所）	2,061	2,100	エコノミックガーデニング推進事業

３－２－④ 新企業の立地促進

ねらい (めざす姿)	・企業進出が図られます。		
基本事業の成果指標	H 2 3 基準値	H 2 9 目標値	実施計画事業
年間進出企業数（社）	0	10	

３－２－⑤ 雇用の推進

ねらい (めざす姿)	・失業者が減少し、就労者が増加します。		
基本事業の成果指標	H 2 3 基準値	H 2 9 目標値	実施計画事業
就職セミナー開催回数（回）	1	5	

施策３－３ 観光の振興

３－３－① 観光事業推進体制の整備

ねらい (めざす姿)	・観光関連団体が観光事業を積極的に取り組みます。		
基本事業の成果指標	H 2 3 基準値	H 2 9 目標値	実施計画事業
観光関連団体による事業企画実施件数 (件)	5	6	

３－３－② 観光関連団体との連携によるイベントの開催

ねらい (めざす姿)	・イベント開催により、市の活力と安らぎが感じられます。		
基本事業の成果指標	H 2 3 基準値	H 2 9 目標値	実施計画事業
イベントの来場者数（人）	29,500	40,000	さんむ観光優待キャンペーン事業 (地方創生)
各種団体からの協力者数（人）	166	 (180)	

３－３－③ 海岸の整備

ねらい (めざす姿)	・整備がなされ、快適に利用されます。		
基本事業の成果指標	H 2 3 基準値	H 2 9 目標値	実施計画事業
観光施設（海水浴場）の利用者数（人）	75,951	160,000	
観光施設の維持管理上の不具合件数 (件)	1	2	

３－３－④ 観光資源の開発・充実

ねらい (めざす姿)	・既存の観光資源を掘り起こし活用します。		
基本事業の成果指標	H 2 3 基準値	H 2 9 目標値	実施計画事業
観光資源数（か所）	25	27	
観光案内所利用件数（件）	9,679	 (10,000)	

3-3-⑤ 体験型観光の推進

ねらい (めざす姿)	・ 体験型観光により、市の魅力が感じられます。		
基本事業の成果指標	H 2 3 基準値	H 2 9 目標値	実施計画事業
体験型観光客数（人）	167, 194	300, 000	

施策３－４ シティセールスの充実

３－４－① 情報発信力の強化

ねらい (めざす姿)	・ 市政の動向やイベント・観光情報等を積極的に発信し、「山武市」の名前や市の活動、資源が市内外に知れ渡ります。		
基本事業の成果指標	H 2 3 基準値	H 2 9 目標値	実施計画事業
情報提供件数（件）	482	 (949)	
報道件数（件）	186	 (296)	

３－４－② 山武市ブランドの確立

ねらい (めざす姿)	・ 市の良質なイメージが定着することで、市の持つ資源の価値が高まります。		
基本事業の成果指標	H 2 3 基準値	H 2 9 目標値	実施計画事業
地域資源数（累計）（件）	—	 (100)	

３－４－③ 魅力あるまちづくりによる定住促進

ねらい (めざす姿)	・ 市域全体が有機的に結びつき、賑わい豊かで、活力あるまちづくりがなされます。		
基本事業の成果指標	H 2 3 基準値	H 2 9 目標値	実施計画事業
転入出者数（人）	△287	0	
新築家屋件数（件）	145	220	
合計特殊出生率（人）	1.04		

３－４－99 施策の総合推進

実施計画事業	シティセールス推進事業
--------	-------------

実施計画事業名			認定農業者育成事業				[447]	
政策名	03	にぎわい豊かな暮らしを創出するまちづくり		担当部課	経済環境部 農商工・観光課			
施策名	01	農林水産業の振興		事業区分	継続事業			
基本事業名	01	担い手の育成・支援		計画年度	～			
1 対象（誰、何に対して事業を行うのか）				2 事業概要・全体計画				
市内認定農業者				市内認定農業者が農業経営改善に必要とする業用機械(貨物自動車を除く。)及び農業用施設に要する経費の10%以内を限度額250,000円として、同一年度内に一度限り助成します。申請受付を4月～5月末まで行います。なお交付を受けた翌年度については事業申請できません。				
3 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）				※認定農業者は、年間農業所得550万円以上・年間労働時間2,000時間以下の育成目標を達成できる経営改善計画を提出して、県・農協・農業委員会の意見を聞いたうえで市長に認定されます。				
認定農業者の機械・施設の導入・更新が促進され、作業の省力化・効率化が進みます。認定農業者が増加します。								
指標・事業費の推移				単位	H26年度当初	H27年度計画	H28年度計画	H29年度計画
区 分	指 標 名 称							
活動指標①	事業要望件数			件	50	50	50	50
活動指標②	補助金交付件数			件	50	50	50	50
成果指標①	交付額			円	9,000,000	8,000,000	8,000,000	8,000,000
成果指標②	認定農業者増加件数			人	5	5	5	5
事業費			当初予算	千円	9,000	8,000	8,000	8,000
			平成26年度繰越額	千円				

実施計画事業名		農地利用集積助成事業					[448]			
政策名	03	にぎわい豊かな暮らしを創出するまちづくり			担当部課	経済環境部 農商工・観光課				
施策名	01	農林水産業の振興			事業区分	継続事業				
基本事業名	02	農地の利用集積の推進			計画年度	～				
1 対象（誰、何に対して事業を行うのか）					2 事業概要・全体計画					
農業経営基盤強化促進法による農用地利用集積計画者の貸主及び認定農業者である借主です。					6年以上の利用権設定を行った貸主及び認定農業者である借主に、設定年数と新規・再設定別に補助金を交付します。					
					1月から12月で区切り、対象者に申請の手続きについて、通知します。⇒申請者の納税状況を確認し交付決定⇒補助金交付					
3 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）										
耕作出来ない農地所有者と規模拡大を目指す認定農業者の利用権設定を増加させ、耕作放棄地発生防止と、耕作者の規模拡大が促進できます。					6年以上10年未満・新規⇒10a当たり5,000円					
					10年以上・新規⇒10a当たり7,000円					
					6年以上10年未満・再設定⇒10a当たり3,000円					
					10年以上・再設定⇒10a当たり5,000円					
指標・事業費の推移					単位	H26年度当初	H27年度計画	H28年度計画	H29年度計画	
区 分	指 標 名 称									
活動指標①	補助金額				千円	8,500	8,500	8,138	8,138	
活動指標②										
成果指標①	前年比利用権設定面積増減率				%	1	1	1	1	
成果指標②										
事業費					当初予算	千円	8,648	8,138	8,138	8,138
					平成26年度繰越額	千円				

実施計画事業名		市内産木材利用促進事業					[469]			
政策名	03	にぎわい豊かな暮らしを創出するまちづくり			担当部課	経済環境部 わがまち活性課				
施策名	01	農林水産業の振興			事業区分	継続事業				
基本事業名	05	森林再生の推進			計画年度	平成20年度 ～				
1 対象（誰、何に対して事業を行うのか）					2 事業概要・全体計画					
市内新築木造住宅					山武市内で伐採・製材（森林組合も可）された木材（市内産木材）を一定量（床面積1㎡当たり0.1立方メートル以上）使用し、新築又は増築した住宅（施工は市内業者に限る）で、延べ床面積が新築では70㎡以上、増築では33㎡以上（増築では増築部分、併用住宅では居住部分）の住宅に対し、補助金を交付します。 補助金の額 市内産木材使用量（製材後の体積）1立米当たり2万円で50万円を上限（千円未満は切り捨て）とします。					
3 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）										
市内産木材を利用した住宅が増えることにより、市内産木材の使用が増えています。										
指標・事業費の推移					単位	H26年度当初	H27年度計画	H28年度計画	H29年度計画	
区 分	指 標 名 称									
活動指標①	山武市産材利用の啓発回数				回	4	4	4	4	
活動指標②										
成果指標①	事業認定年間棟数				棟	6	4	4	4	
成果指標②	認定住宅における山武市産材の年間使用量合計				m3	150	100	100	100	
事 業 費					当初予算	千円	3,000	2,000	2,000	2,000
					平成26年度繰越額	千円				

実施計画事業名		木材流通システム助成事業					[1539]			
政策名	03	にぎわい豊かな暮らしを創出するまちづくり			担当部課	経済環境部 わがまち活性課				
施策名	01	農林水産業の振興			事業区分	継続事業				
基本事業名	05	森林再生の推進			計画年度	平成24年度 ～				
1 対象（誰、何に対して事業を行うのか）					2 事業概要・全体計画					
市内山林					市内山林から森林整備によって発生した間伐材、林地残材等を資源循環に利用するため林内から搬出する者に対し、流通システム等を実施するNPO等を介し助成を行います。					
3 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）					事業期間 平成24年度～ 年間助成金額 3,000千円（1,000t×3千円/t） 補助対象 山武市内の山林から搬出された木材に対し補助金を交付します。					
林内の整備を促進させることにより、森林機能の回復及び流通システムの入口と出口の円滑化を図り、森林再生の循環化が推進されます。										
指標・事業費の推移					単位	H26年度当初	H27年度計画	H28年度計画	H29年度計画	
区 分	指 標 名 称									
活動指標①	補助金額				千円	3,000	3,000	3,000	3,000	
活動指標②										
成果指標①	間伐材、被害材等の搬出量				t	1,000	1,000	1,000	1,000	
成果指標②										
事 業 費					当初予算	千円	3,000	2,100	2,100	2,100
					平成26年度繰越額	千円				

実施計画事業名		多面的機能事業					[1542]			
政策名	03	にぎわい豊かな暮らしを創出するまちづくり			担当部課	経済環境部 農商工・観光課				
施策名	01	農林水産業の振興			事業区分	継続事業				
基本事業名	06	農業基盤整備の推進			計画年度	平成26年度 ～				
1 対象（誰、何に対して事業を行うのか）					2 事業概要・全体計画					
活動実施組織 活動実施組織の地区に存在する保全対象施設（農用地、開水路、パイプライン、ため池、農道） （変更前名称：農地・水保全管理事業）					活動組織が実施する活動に対し、対象農用地面積により国(50%)・県(25%)・市(25%)の負担割合により各活動組織へ交付します。					
3 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）										
混住化や農業者の高齢化が進み、農業者だけでは管理できなくなるであろう社会情勢により、これからは非農業者を含めた地域住民で農業施設を管理していくことにより、農村環境の向上及び農業や生活環境が活性化されます。										
指標・事業費の推移					単位	H26年度当初	H27年度計画	H28年度計画	H29年度計画	
区 分	指 標 名 称									
活動指標①	共同活動支援交付金額				千円	4,175	23,931	23,931	23,931	
活動指標②	向上活動支援交付金額				千円	0	0	0	0	
成果指標①	活動組織における活動実施回数				回	12	12	12	12	
成果指標②										
事業費					当初予算	千円	4,175	23,931	23,931	23,931
					平成26年度繰越額	千円				

実施計画事業名		国営両総土地改良事業				[1543]		
政策名	03	にぎわい豊かな暮らしを創出するまちづくり		担当部課	経済環境部 農商工・観光課			
施策名	01	農林水産業の振興		事業区分	新規事業			
基本事業名	06	農業基盤整備の推進		計画年度	平成27年度 ～ 平成27年度			
1 対象（誰、何に対して事業を行うのか）				2 事業概要・全体計画				
両総土地改良区				国営かんがい排水事業両総地区に対し、協定書に基づき地元負担分の償還をします。 関係市町村：香取市・匝瑳市・東金市・茂原市・山武市・成田市 他7町1村 受益面積：用水改良17,400ha、排水改良1,600ha 工期：平成5年～平成26年度 主要工事：水門3門、揚水機場5箇所、用水路工89km、取水堰2門、排水路6.9km、排水機場1箇所 負担割合：〈用水〉国8/12、県3/12、市1/12のうち山武市12.56% 〈排水〉国2/3、県1/3				
3 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）								
農業基盤が整備され、効率性・生産性が向上します。								
指標・事業費の推移				単位	H26年度当初	H27年度計画	H28年度計画	H29年度計画
区 分	指 標 名 称							
活動指標①	負担金額			千円		956,902		
活動指標②								
成果指標①	償還率			%		100		
成果指標②								
事業費			当初予算	千円		956,902		
			平成26年度繰越額	千円				

実施計画事業名			経営所得安定対策推進事業					[1602]		
政策名	03	にぎわい豊かな暮らしを創出するまちづくり			担当部課		経済環境部 農商工・観光課			
施策名	01	農林水産業の振興			事業区分		継続事業			
基本事業名	99	施策の総合推進			計画年度		平成24年度 ～			
1 対象（誰、何に対して事業を行うのか）					2 事業概要・全体計画					
山武市農業再生協議会 農家					販売価格が生産費を恒常的に下回っている作物を対象に、その差額を交付することにより、農業経営の安定と国内生産力の確保を図るとともに、麦・大豆等の戦略作物への作付転換を支援します。 市は、山武市農業再生協議会が行う経営所得安定対策の推進活動に必要な補助金を助成します。					
3 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）										
農業経営の安定化が図られます。 産業としての持続性が回復し、農村の再生が図られます。										
指標・事業費の推移					単位	H26年度当初	H27年度計画	H28年度計画	H29年度計画	
区 分	指 標 名 称									
活動指標①	生産調整面積				h a	1,000	1,000	1,000	1,000	
活動指標②										
成果指標①	生産調整実績				h a	200	210	220	220	
成果指標②	事業加入者数				人	190	195	200	200	
事 業 費					当初予算	千円	39,930	47,314	47,314	47,314
					平成26年度繰越額	千円				

実施計画事業名			プレミアム地域商品券事業(地方創生)				[1873]		
政策名	03	にぎわい豊かな暮らしを創出するまちづくり			担当部課	経済環境部 農商工・観光課			
施策名	02	商工業の振興			事業区分	新規事業			
基本事業名	02	市内商店の利用拡大			計画年度	平成26年度 ～ 平成27年度			
1 対象（誰、何に対して事業を行うのか）					2 事業概要・全体計画				
市民 市商工会					地方創生関係交付金（消費喚起・生活支援型）を原資とした補助金を、プレミアム付き商品券を発行する市商工会に交付することで、域内での消費喚起を促すとともに、地域経済の活性化を図ります。 ・1,000円券13枚を1セットとして10,000円で、32,000セットを発行予定。 ・プレミアム(率30%)分の上乗せ額96,000千円と事務的経費(印刷・周知・販売・換金・集計等)の12,000千円を補助金交付。 （補助金総額108,000千円の範囲内で若干の変動あり） ※平成27年度は、地方創生関連交付金（平成26年度からの繰越）を活用した事業実施を予定しています。				
3 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
有効期限6ヶ月間のプレミアム付き商品券の発行により、地域販売店での購買の促進と消費の喚、並びに商工業事業者の活性化が図られます。									
指標・事業費の推移									
区 分	指 標 名 称				単位	H26年度当初	H27年度計画	H28年度計画	H29年度計画
活動指標①	商品券販売額				千円		320,000		
活動指標②									
成果指標①	商品券換金率				%		99.5		
成果指標②									
事 業 費					当初予算	千円			
					平成26年度繰越額	千円		108,000	

実施計画事業名		エコノミックガーデニング推進事業				[1802]		
政策名	03	にぎわい豊かな暮らしを創出するまちづくり		担当部課	経済環境部 わがまち活性課			
施策名	02	商工業の振興		事業区分	継続事業			
基本事業名	03	経営の体質強化・育成		計画年度	平成26年度 ～			
1 対象（誰、何に対して事業を行うのか）				2 事業概要・全体計画				
市内中小企業、小規模事業者				企業家精神あふれる地元の中小企業が長生きして繁栄するようなビジネス環境を創出します。				
				H27 エコノミックガーデニング戦略の構築 ・市内中小企業、小規模事業者調査 ・試験事業の展開 ・推進組織の検討、設立				
3 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）				H28～ 推進組織を中心に戦略を展開 ・運営負担金（エコノミックガーデニング事業費等）				
地元企業を成長させることにより、雇用を確保し、住民の所得を向上させることで経済的な地域力を高め、レジメントリ（回復力のある）地域をつくります。				※平成27年度は、地方創生関連交付金（平成26年度からの繰越）を活用し、地域経済振興戦略策定に向けた調査等を予定しています。				
指標・事業費の推移				単位	H26年度当初	H27年度計画	H28年度計画	H29年度計画
区 分	指 標 名 称							
活動指標①	訪問事業所数			所	20	100	100	100
活動指標②								
成果指標①	参加事業所数			所	10	17	100	110
成果指標②								
事業費			当初予算	千円	2,423	701	10,000	10,000
			平成26年度繰越額	千円		8,917		

実施計画事業名		さんむ観光優待キャンペーン事業(地方創生)				[1871]		
政策名	03	にぎわい豊かな暮らしを創出するまちづくり		担当部課	経済環境部 わがまち活性課			
施策名	03	観光の振興		事業区分	新規事業			
基本事業名	02	観光関連団体との連携によるイベントの開催		計画年度	平成26年度 ～			
1 対象（誰、何に対して事業を行うのか）				2 事業概要・全体計画				
宿泊者				市内宿泊客を対象として、市内の観光施設、飲食店やお土産店等で利用できる優待券を配布します。 配布の対象は、5千円以上の宿泊者とし、1名につき1千円の優待券を配布予定。				
3 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）				4月～6月 優待券発行準備 7月～12月 優待券の配布、換金、PR等 1月～3月 優待券事業の精算				
市内に宿泊する観光客の増加と市内の消費喚起効果の増進				山武市観光協会への補助金事業として実施 ※平成27年度は、地方創生関連交付金（平成26年度からの繰越）を活用した事業実施を予定しています。				
指標・事業費の推移				単位	H26年度当初	H27年度計画	H28年度計画	H29年度計画
区 分	指 標 名 称							
活動指標①	優待券発行総額			千円		15,000		
活動指標②	優待券利用可能施設数			施設		150		
成果指標①	宿泊者数			人		80,000		
成果指標②	観光入込客数			人		2,200,000		
事 業 費			当初予算	千円				
			平成26年度繰越額	千円		15,845		

実施計画事業名		シティセールス推進事業				[1733]		
政策名	03	にぎわい豊かな暮らしを創出するまちづくり		担当部課	総務部 企画政策課			
施策名	04	シティセールスの充実		事業区分	継続事業			
基本事業名	99	施策の総合推進		計画年度	平成25年度 ～			
1 対象（誰、何に対して事業を行うのか）				2 事業概要・全体計画				
・市の資源（ヒト・モノ・カネ・情報） ・職員				全施策に「シティセールス」の考え方を盛り込み、シティセールスに係る事業を推進していきます。 【事業計画】 ・基礎調査（転出入アンケート） ・転入者向けパンフレットの作成・更新 ・シティセールスに係る事業の進捗管理 ・研修及び他自治体等との情報交換機会への参加				
3 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）								
・シティセールスの目的が庁内に浸透し、シティセールに係る事業が積極的に取組まれる環境が構築されます。								
指標・事業費の推移				単位	H26年度当初	H27年度計画	H28年度計画	H29年度計画
区 分	指 標 名 称							
活動指標①	調査実施回数			回	1	1	1	1
活動指標②								
成果指標①	シティセールスに係る事務事業数			事業	25	30	30	30
成果指標②								
事 業 費			当初予算	千円	863	433	433	433
			平成26年度繰越額	千円				

政策4 だれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり

【施策】

4-1 高齢者福祉の充実

【基本事業】

- 4-1-① 生きがいづくりと社会参加の促進
- 4-1-② 介護サービス・日常生活の支援
- 4-1-③ 介護予防の推進
- 4-1-④ 安全・安心な生活への仕組みづくり
- 4-1-⑤ 介護保険制度の安定的な運用

4-2 障がい者（児）福祉の充実

- 4-2-① 自立支援サービスの促進
- 4-2-② 地域生活支援の基盤づくり
- 4-2-③ 社会活動参加の促進

4-3 健康づくりの推進

- 4-3-① 健康づくり活動の推進
- 4-3-② 健診の受診率向上と生活習慣の改善
- 4-3-③ 母子保健の充実
- 4-3-④ 医療体制の充実

4-4 子育ての支援

- 4-4-① 幼保機能の充実
- 4-4-② 安心して子育てできる環境づくり
- 4-4-③ 子育て家庭への援助
- 4-4-④ こどもの人権の尊重
- 4-4-⑤ 学童保育の充実

4-5 地域福祉の充実

- 4-5-① 地域福祉の担い手育成
- 4-5-② 社会福祉機関・団体の充実
- 4-5-③ 公営住宅の維持管理
- 4-5-④ 生活保護制度の適正な実施

施策４－１ 高齢者福祉の充実

４－１－① 生きがいくりと社会参加の促進

ねらい (めざす姿)	・社会参加をしている高齢者が増加します。(仕事、地域など) ・生きがいをもつ高齢者が増加します。		
基本事業の成果指標	H 2 3 基準値	H 2 9 目標値	実施計画事業
社会参加している高齢者の割合 (%)	22.2	 (30.0)	
生きがいを持っている高齢者の割合 (%)	42.9	 (45.0)	

４－１－② 介護サービス・日常生活の支援

ねらい (めざす姿)	・支援や介護を必要とする高齢者が、住み慣れた地域で生活できるよう、適切な日常生活支援のサービスを受けられます。		
基本事業の成果指標	H 2 3 基準値	H 2 9 目標値	実施計画事業
介護給付サービス利用率(居宅) (%)	58.1	60.0	
介護給付サービス利用率(施設) (%)	28.4	30.0	
介護度４、５の方の施設入所割合 (%)	49.3	52.0	

４－１－③ 介護予防の推進

ねらい (めざす姿)	・健康づくりを習慣的にしています。 ・健康状態(介護状態)を悪化させず、改善をめざしています。		
基本事業の成果指標	H 2 3 基準値	H 2 9 目標値	実施計画事業
高齢者として健康づくり項目の平均実践項目数(項目)	4.58	6.0	

４－１－④ 安全・安心な生活への仕組みづくり

ねらい (めざす姿)	・必要なときに相談や支援を受けられ、安心・安全に暮らしています。		
基本事業の成果指標	H 2 3 基準値	H 2 9 目標値	実施計画事業
緊急通報装置を設置している１人暮らし高齢者の割合 (%)	18.2	 (18.2)	緊急通報ネットワーク事業
相談先がある高齢者の割合 (%)	76.2	 (78.0)	
高齢者の相談件数(件)	2,558	 (2,600)	

4-1-⑤ 介護保険制度の安定的な運用

ねらい (めざす姿)	・ 介護保険の趣旨が理解され、安定的な保険制度が運用されています。		
基本事業の成果指標	H 2 3 基準値	H 2 9 目標値	実施計画事業
介護保険料収納率（現年度）（%）	97.3	97.3	

施策４－２ 障がい者（児）福祉の充実

４－２－① 自立支援サービスの促進

ねらい (めざす姿)	・障がいの特性や能力に応じて適正なサービスを受けられ、自立が促進されます。		
基本事業の成果指標	H 2 3 基準値	H 2 9 目標値	実施計画事業
自立支援給付サービスの利用者数（人）	399	500	
福祉施設から一般就労への移行者数（人）	1	2	

４－２－② 地域生活支援の基盤づくり

ねらい (めざす姿)	・障がいの特性や能力に応じて適正な生活支援が受けられ、生活改善や経済的負担が軽減されます。		
基本事業の成果指標	H 2 3 基準値	H 2 9 目標値	実施計画事業
地域生活支援事業の窓口相談等の相談件数（件）	3, 283	→ (3, 300)	
医療費助成を受け経済的負担が軽減されている障がい者数（人）	1, 680	→ (1, 800)	

４－２－③ 社会活動参加の促進

ねらい (めざす姿)	・行動範囲が広がり、就労や社会参加できます。		
基本事業の成果指標	H 2 3 基準値	H 2 9 目標値	実施計画事業
訓練施設から一般就労した障がい者数（人）	2	4	
社会参加促進事業サービス利用割合（％）	77. 4	82. 0	

施策４－３ 健康づくりの推進

４－３－① 健康づくり活動の推進

ねらい (めざす姿)	・健康増進や疾病予防に関する知識が身につき、個人にあった健康づくりが実践できます。		
基本事業の成果指標	H 2 3 基準値	H 2 9 目標値	実施計画事業
一人当たりの健康づくり取組項目数 (項目)	3.58	 (4.0)	

４－３－② 健診の受診率向上と生活習慣の改善

ねらい (めざす姿)	・定期的に健診を受け、早期発見・早期治療ができます。 ・生活習慣を見直すことにより、検査データを改善し、より健康な生活ができます。		
基本事業の成果指標	H 2 3 基準値	H 2 9 目標値	実施計画事業
特定健康診査受診率 (%)	33.2	40.0	
がん検診を年1回受けている市民の割合 (%)	43.3	 (45.0)	
メタボリックシンドローム該当者及び 予備群の割合 (%)	20.8	17.0	

４－３－③ 母子保健の充実

ねらい (めざす姿)	・育児に関する知識習得や健診受診により、親子が心身ともに健康な生活を送ることができます。		
基本事業の成果指標	H 2 3 基準値	H 2 9 目標値	実施計画事業
乳幼児健診の受診率 (%)	90.2	90.0	
乳幼児健診の満足度 (%)	87.9	90.0	
幼児 (3 歳) のむし歯保有者率 (%)	27.4	24.9	

４－３－④ 医療体制の充実

ねらい (めざす姿)	・いつでも安心して、適正な医療が受けられます。		
基本事業の成果指標	H 2 3 基準値	H 2 9 目標値	実施計画事業
地域医療体制の充足度 (%)	5.4	 (10.0)	医学生奨学金等貸付事業 看護学生奨学金貸付事業

施策４－４ 子育ての支援

４－４－① 幼保機能の充実

ねらい (めざす姿)	・幼児教育を受ける機会の拡充と保育サービスにより、子どもを預け、働くことができます。		
基本事業の成果指標	H 2 3 基準値	H 2 9 目標値	実施計画事業
幼稚園・保育所・こども園の定員充足率 (%)	68.5	80.0	ちびっこ国際交流事業
就学前保育・教育に関する保護者の満足 度 (%)	94.0	 (94.0)	

４－４－② 安心して子育てできる環境づくり

ねらい (めざす姿)	・子育ての悩みを相談できるネットワークがあり、不安や悩みが軽減されます。		
基本事業の成果指標	H 2 3 基準値	H 2 9 目標値	実施計画事業
配偶者・その他の親族以外で子育てを相 談できる相手がいる保護者の割合 (%)	97.4	 (97.0)	
子育て相談（場所など）の周知度 (%)	44.7	 (50.0)	
各種子育て相談延べ件数（件）	459	 (780)	

４－４－③ 子育て家庭への援助

ねらい (めざす姿)	・所得に応じて経済的負担が軽減され、子育てしやすい環境になっています。 ・就労などにより、経済的に自立した生活が送れます。		
基本事業の成果指標	H 2 3 基準値	H 2 9 目標値	実施計画事業
子育ての経済的負担軽減に関するのべ 受給者数（人）	54,428	 (54,500)	母子家庭自立支援給付金事業 子ども医療費助成事業 高校生等医療費助成事業
ひとり親家庭の自立率 (%)	4.1	6.0	

４－４－④ 子どもの人権の尊重

ねらい (めざす姿)	・地域住民も関心を持ち、子どもたちの人権が守られます。		
基本事業の成果指標	H 2 3 基準値	H 2 9 目標値	実施計画事業
児童虐待通告件数（件）	36	—	
児童に関する措置件数（件）	3	1	

4-4-⑤ 学童保育の充実

ねらい (めざす姿)	・放課後の児童の安全を確保し、適切な遊びや、生活の場を与えることにより、保護者が安心して働けます。		
基本事業の成果指標	H 2 3 基準値	H 2 9 目標値	実施計画事業
学童クラブの定員充足率（％）	71.2	75.0	

施策４－５ 地域福祉の充実

４－５－① 地域福祉の担い手育成

ねらい (めざす姿)	・地域での福祉サービスの担い手が増加します。		
基本事業の成果指標	H 2 3 基準値	H 2 9 目標値	実施計画事業
地域福祉サービスや福祉のボランティアをしたことがある市民の割合（％）	11.6	 (20.0)	地域福祉活動推進助成事業
福祉活動の市民活動団体の加入者数（人）	1,333	1,500	

４－５－② 社会福祉機関・団体の充実

ねらい (めざす姿)	・ニーズにあった地域福祉サービスを提供し、実施機関としての活動が活発化します。		
基本事業の成果指標	H 2 3 基準値	H 2 9 目標値	実施計画事業
社会福祉協議会で実施した事業への参加者数（人）	30,477	33,000	
民生委員児童委員の１人当たりの年間活動日数（日）	87	95	

４－５－③ 公営住宅の維持管理

ねらい (めざす姿)	・入居者が、適正に維持管理された住宅で居住できます。		
基本事業の成果指標	H 2 3 基準値	H 2 9 目標値	実施計画事業
公営住宅応募倍率（％）	100	100	

４－５－④ 生活保護制度の適正な実施

ねらい (めざす姿)	・生活保護制度が適正に実施されています。		
基本事業の成果指標	H 2 3 基準値	H 2 9 目標値	実施計画事業
生活保護受給世帯数（世帯）	210	272	

実施計画事業名		緊急通報ネットワーク事業				[357]		
政策名	O4	だれもが生きがいをもち安心して暮らせるまちづくり		担当部課	保健福祉部 高齢者福祉課			
施策名	O1	高齢者福祉の充実		事業区分	継続事業			
基本事業名	O4	安全・安心な生活への仕組みづくり		計画年度	平成02年度 ～			
1 対象（誰、何に対して事業を行うのか）				2 事業概要・全体計画				
①65歳以上の高齢者のみの世帯 ②身体障害者1級または2級に該当する65歳未満のみで構成される世帯の方				設置希望者からの申請により緊急通報装置の必要性がある者について設置を行い、日常生活上の不安を解消する。また協力員等への連絡により地域での見守りを行います。 （事務手順） ①対象者からの緊急通報装置貸与申請により申請書受理。 ②市が該当要件を審査し対象者には郵送にて決定通知を郵送し設置日の調整は業者が行います。 ③委託事業所が装置を設置します。 ④費用は無料で月々の委託料を市が負担。 ⑤月に一度の安否確認（機器のメンテナンス含む）				
3 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）								
緊急通報装置の設置により日常生活上の不安が解消でき、急病等の緊急時に適切な対応ができます。								
指標・事業費の推移				単位	H26年度当初	H27年度計画	H28年度計画	H29年度計画
区 分	指 標 名 称							
活動指標①	緊急通報装置設置申請受理件数			件	80	85	90	95
活動指標②	お元気コール実施回数			回	5,400	5,500	5,600	5,700
成果指標①	緊急通報連絡により対応した件数			件	450	460	470	485
成果指標②	緊急通報装置の設置数			台	464	475	485	500
事業費			当初予算	千円	9,729	10,368	10,435	10,704
			平成26年度繰越額	千円				

実施計画事業名		医学生奨学金等貸付事業				[1324]		
政策名	04	だれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり		担当部課	保健福祉部 健康支援課			
施策名	03	健康づくりの推進		事業区分	継続事業			
基本事業名	04	医療体制の充実		計画年度	平成23年度 ～			
1 対象（誰、何に対して事業を行うのか）				2 事業概要・全体計画				
医学生（山武市に5年以上住所を有したことの者）				さんむ医療センターの医師確保のため、将来医師としてさんむ医療センターで勤務しようとする医学生に対し、奨学金等を貸付する事業です。 奨学金：月額20万円(最長10年間)、一時貸付金：上限1,000万円				
3 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）								
さんむ医療センターに勤務する医師を確保し、さんむ医療センターの安定した健全経営を図ります。								
指標・事業費の推移				単位	H26年度当初	H27年度計画	H28年度計画	H29年度計画
区 分	指 標 名 称							
活動指標①	奨学金の申請を受けた件数			件	2	2	2	2
活動指標②	修学一時金の申請を受けた件数			件	1	1	1	1
成果指標①	奨学金を貸し付けした件数			件	2	2	2	2
成果指標②	修学一時金を貸し付けした件数			件	1	1	1	1
事業費			当初予算	千円	19,630	19,612	19,630	19,630
			平成26年度繰越額	千円				

実施計画事業名		看護学生奨学金貸付事業					[1468]			
政策名	04	だれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり			担当部課	保健福祉部 健康支援課				
施策名	03	健康づくりの推進			事業区分	継続事業				
基本事業名	04	医療体制の充実			計画年度	平成23年度 ～				
1 対象（誰、何に対して事業を行うのか）					2 事業概要・全体計画					
看護学生					さんむ医療センターの看護師確保のため、将来看護師としてさんむ医療センターで勤務しようとする看護学生に対し、奨学金を貸付する事業です。 奨学金：月額5万円(最長4年間)					
3 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）										
さんむ医療センターに勤務する看護師を確保し、さんむ医療センターの安定した健全経営を図ります。										
指標・事業費の推移					単位	H26年度当初	H27年度計画	H28年度計画	H29年度計画	
区 分	指 標 名 称									
活動指標①	奨学金の申請を受けた件数				件	45	63	62	73	
活動指標②										
成果指標①	奨学金を貸し付けた件数				人	45	63	62	73	
成果指標②										
事業費					当初予算	千円	30,713	37,263	37,262	43,862
					平成26年度繰越額	千円				

実施計画事業名		ちびっこ国際交流事業				[1875]		
政策名	04	だれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり		担当部課	保健福祉部 子育て支援課			
施策名	04	子育ての支援		事業区分	新規事業			
基本事業名	01	幼保機能の充実		計画年度	平成26年度 ～			
1 対象（誰、何に対して事業を行うのか）				2 事業概要・全体計画				
幼児等（児童）				国際化に対応した人づくりの基礎として、市内の幼児等がネイティブな外国語にふれあいながら、国際的な文化・歴史に興味を持つ機会を提供します。 市内のこども園、幼稚園等を対象に、外国語に親しむ活動を行います。				
3 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）				※平成27年度は、地方創生関連交付金（平成26年度からの繰越）を活用した事業実施を予定しています。				
幼児等が外国語に慣れ親しみます。								
指標・事業費の推移				単位	H26年度当初	H27年度計画	H28年度計画	H29年度計画
区 分	指 標 名 称							
活動指標①	外国語指導員数			人		2	2	2
活動指標②								
成果指標①	保護者のこども園等に対する満足度			%		72	74	75
成果指標②								
事業費			当初予算	千円			8,756	8,756
			平成26年度繰越額	千円		8,756		

実施計画事業名		母子家庭自立支援給付金事業					[338]	
政策名	04	だれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり		担当部課	保健福祉部 子育て支援課			
施策名	04	子育ての支援		事業区分	継続事業			
基本事業名	03	子育て家庭への援助		計画年度	平成20年度 ～			
1 対象（誰、何に対して事業を行うのか）				2 事業概要・全体計画				
母子家庭の母 父子家庭の父				母子家庭の母及び父子家庭の父の就労をより効果的に促進するため、自主的に職業能力の開発を行う母子家庭の母及び父子家庭の父に対し給付金を支給します。 【自立支援教育訓練給付金事業】 資格取得の教育訓練講座を受講した母子家庭の母及び父子家庭の父に受講料の一部を支給します。 ・対象講座：雇用保険制度の教育訓練給付の指定教育訓練講座就業に結びつく可能性が高い講座として国が定めるものです。 【高等技能訓練促進費事業】 看護師や介護福祉士等の経済的自立に効果的な資格取得のために2年以上修学する場合に支給します。				
3 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）								
母子家庭の母及び父子家庭の父が、安心して子育てできる環境を整えます。								
指標・事業費の推移				単位	H26年度当初	H27年度計画	H28年度計画	H29年度計画
区 分	指 標 名 称							
活動指標①	相談員による相談回数（随時）			回	10	10	10	10
活動指標②								
成果指標①	教育訓練講座・高等技能訓練を受講した母子家庭の母と父子家庭の父の人数			人	8	8	8	8
成果指標②								
事 業 費			当初予算	千円	8,763	3,421	8,538	8,538
			平成26年度繰越額	千円				

実施計画事業名		子ども医療費助成事業				[428]		
政策名	04	だれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり		担当部課	保健福祉部 子育て支援課			
施策名	04	子育ての支援		事業区分	継続事業			
基本事業名	03	子育て家庭への援助		計画年度	平成15年度 ～			
1 対象（誰、何に対して事業を行うのか）				2 事業概要・全体計画				
中学校3年生までの子ども 中学校3年生までの子どもの保護者				子どもの医療に要する費用を負担する保護者に対し、当該費用の全部又は一部を助成します。 対象を中学3年生までの子どもの通院又は入院に係る保険適用の医療費及び保険調剤とし、個人負担として、通院及び入院は、所得状況で無料又は1回300円とし、保険調剤は全額無料とします。 子どもの出生または転入（中学校3年生まで）により、山武市民となった子どもの保護者から、子ども医療費助成申請書に加入保険証（写し）を添付した申請を受け、受給券を発行します。（毎年、課税状況を確認し、負担金の有無を確認するため、8月1日に切り替えを行います。）				
3 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）								
子どもの保護者の医療費に係る経済的負担を軽減します。								
指標・事業費の推移				単位	H26年度当初	H27年度計画	H28年度計画	H29年度計画
区 分	指 標 名 称							
活動指標①	申請受付件数			件		5,534	5,327	5,175
活動指標②								
成果指標①	医療費助成額			千円		144,493	128,000	128,000
成果指標②								
事 業 費			当初予算	千円	100,127	136,121	134,831	134,831
			平成26年度繰越額	千円				

実施計画事業名		高校生等医療費助成事業				[1816]		
政策名	04	だれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり		担当部課	保健福祉部 子育て支援課			
施策名	04	子育ての支援		事業区分	新規事業			
基本事業名	03	子育て家庭への援助		計画年度	平成26年度 ～			
1 対象（誰、何に対して事業を行うのか）				2 事業概要・全体計画				
高校生等 高校生等の保護者				18歳（高校3年生）に達する日以後の最初の3月31日までの就学している者の保険診療分の医療費を償還払いで助成します。 （手順） 保護者は、助成制度を利用するための登録申請をします。 保険受診をしたときは、医療機関で通常の支払いをし、領収書を受領します。 医療費助成申請書に領収書等の必要書類を添付し、市に申請します。 市で申請書類を審査し、助成金を登録口座へ振り込みます。				
3 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）								
高校生等の保護者の医療費に係る経済的負担が軽減され、就学・子育てをしやすい環境になります。								
指標・事業費の推移				単位	H26年度当初	H27年度計画	H28年度計画	H29年度計画
区 分	指 標 名 称							
活動指標①	資格登録人数			人		1,572	1,528	1,436
活動指標②	医療費助成件数			件		5,251	5,104	4,796
成果指標①	資格登録率			%		95	95	95
成果指標②	助成実人数			人		1,257	1,222	1,148
事 業 費			当初予算	千円		23,129	22,762	21,396
			平成26年度繰越額	千円				

実施計画事業名		地域福祉活動推進助成事業					[1156]		
政策名	04	だれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり			担当部課	保健福祉部 社会福祉課			
施策名	05	地域福祉の充実			事業区分	継続事業			
基本事業名	01	地域福祉の担い手育成			計画年度	平成22年度 ～			
1 対象（誰、何に対して事業を行うのか）					2 事業概要・全体計画				
市民（市民活動を実施する団体）					市民活動を行う団体が実施する地域福祉事業に要する経費の一部を助成します。小地域福祉圏の形成及び発展のモデル事業とするため、小学校区13区域を対象とします。 助成額は、予算の範囲内において、経費の10分の10以内とし、1団体につき150千円を上限とします。 事業の決定にあたっては、申請団体からの交付申請書の受理及び山武市地域福祉計画推進委員会へのプレゼンテーション等を経て、同委員会によって決定されます。 5月：地域福祉活動団体の募集 7月：審査会 8月：助成金交付 3月：事業報告会・清算事務				
3 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
地域で相互扶助できていると思う市民を増やし、住んでいる地域それぞれの地域課題を市民自らの手で解決できるようになります。									
指標・事業費の推移					単位	H26年度当初	H27年度計画	H28年度計画	H29年度計画
区 分	指 標 名 称								
活動指標①	地域福祉活動推進助成金の申請受付件数（件）				件	13	13	13	13
活動指標②									
成果指標①	地域福祉活動推進助成金を活用した実施事業数（件）				件	13	13	13	13
成果指標②									
事業費			当初予算	千円	1,950	1,950	1,950	1,950	
			平成26年度繰越額	千円					

政策 5 生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり

【施策】

5-1 学校教育の充実

【基本事業】

5-1-① 教職員の研修の充実

5-1-② 「確かな学力」の向上と「活きた学力」の推進

5-1-③ 「健やかでたくましい体」の育成

5-1-④ 「豊かな心」を育む

5-1-⑤ 安全な教育環境の整備

5-1-⑥ 教育施設の適正配置の推進

5-2 生涯学習の推進

5-2-① 学習ニーズに対応した学習機会の提供

5-2-② 生涯学習施設の充実

5-2-③ 文化財の保護・活用

5-2-④ 芸術文化活動の充実

5-3 スポーツの振興

5-3-① スポーツ活動の充実

5-3-② 体育関係団体・指導者の育成

5-3-③ 体育施設の充実

5-3-④ 世代別のスポーツ実施率のばらつき解消

5-4 学校家庭地域の連携

5-4-① 開かれた学校づくり

5-4-② 教育情報の発信

5-4-③ 家庭教育力の向上

5-4-④ 地域教育力の向上

5-5 人権尊重のまちづくり

5-5-① 人権教育・人権啓発の推進

5-5-② 人権相談の充実

5-5-③ 人権擁護の推進

5-5-④ 男女共同参画の推進

施策５－１ 学校教育の充実

５－１－① 教職員の研修の充実

ねらい (めざす姿)	・全教職員が充実した研修を受けています。		
基本事業の成果指標	H 2 3 基準値	H 2 9 目標値	実施計画事業
校内研修に意欲的に取り組んでいる教職員の割合（％）	86.9	 (88.0)	

５－１－② 「確かな学力」の向上と「活きた学力」の推進

ねらい (めざす姿)	・教科の特性を踏まえた個に応じた授業が受けられます。		
基本事業の成果指標	H 2 3 基準値	H 2 9 目標値	実施計画事業
学習意欲の向上が見られる児童（小５）・生徒（中２）の割合（％）	94.3	 (94.0)	少人数指導授業推進事業
授業が理解できると実感している児童の割合（％）	—	 (70.0)	
授業が理解できると実感している生徒の割合（％）	—	 (65.0)	

５－１－③ 「健やかでたくましい体」の育成

ねらい (めざす姿)	・健康な体がつくられ、体力が向上します。		
基本事業の成果指標	H 2 3 基準値	H 2 9 目標値	実施計画事業
健康診断で要指導以上と認められた児童・生徒の割合（％）	5.1	4.0	
新体力テストで県平均を上回っている種目の割合（％）	65.6	78.5	

5-1-④ 「豊かな心」を育む

ねらい (めざす姿)	・自ら律しつつ、相手を思いやる心を持つ児童・生徒が増加します。		
基本事業の成果指標	H 2 3 基準値	H 2 9 目標値	実施計画事業
不登校児童の割合 (%)	0.5	0.3	
不登校生徒の割合 (%)	2.6	2.7	
小学校の体験活動の実施時間数 (時数)	2,700	2,000	
中学校の体験活動の実施時間数 (時数)	759	600	

5-1-⑤ 安全な教育環境の整備

ねらい (めざす姿)	・安全・安心な教育環境・施設になっています。		
基本事業の成果指標	H 2 3 基準値	H 2 9 目標値	実施計画事業
体育館の非構造部材の耐震化率 (%)	15.8	100	小学校空調機改修事業 小学校体育施設非構造部材耐震事業 中学校体育施設非構造部材耐震事業 小学校体育館改修事業 I C Tサポート事業
学校施設の不具合による学校生活支障 件数 (件)	0	0	

5-1-⑥ 教育施設の適正配置の推進

ねらい (めざす姿)	・児童・生徒の減少に対応した教育施設の適正な配置がなされています。		
基本事業の成果指標	H 2 3 基準値	H 2 9 目標値	実施計画事業
過小規模校数 (校)	0	0	
給食1食当たりのコスト (円)	519	530	

施策５－２ 生涯学習の推進

５－２－① 学習ニーズに対応した学習機会の提供

ねらい (めざす姿)	・生涯学習のメニュー、機会が充足しています。		
基本事業の成果指標	H 2 3 基準値	H 2 9 目標値	実施計画事業
生涯学習の機会が充実していると思う市民の割合 (%)	61.3	 (65.0)	(仮称) 松尾交流館ダンス振興事業
ニーズに合致する生涯学習メニューが充足していると思う市民の割合 (%)	40.2	 (44.0)	

５－２－② 生涯学習施設の充実

ねらい (めざす姿)	・生涯学習施設が多くの市民に利用されています。		
基本事業の成果指標	H 2 3 基準値	H 2 9 目標値	実施計画事業
生涯学習施設の利用者数 (人)	327,250	346,000	

５－２－③ 文化財の保護・活用

ねらい (めざす姿)	・文化財の活用により、市民の文化財への関心が高まり、文化財が保護、継承されます。		
基本事業の成果指標	H 2 3 基準値	H 2 9 目標値	実施計画事業
文化財を活用した事業への参加者数 (人)	881	1,000	
歴史民俗資料館入館者数 (人)	8,013	9,500	

５－２－④ 芸術文化活動の充実

ねらい (めざす姿)	・芸術文化の鑑賞・活動・発表等を通じて、芸術文化に親しみ心豊かな潤いのある生活を送っています。 ・芸術文化活動に参加できる体制が整っています。		
基本事業の成果指標	H 2 3 基準値	H 2 9 目標値	実施計画事業
芸術文化の鑑賞の機会が充実していると思う市民の割合 (%)	62.0	 (65.0)	
市主催の芸術文化事業への参加者数 (人)	4,901	7,000	
芸術文化活動・発表等の機会が充実していると思う市民の割合 (%)	35.3	 (40.0)	

施策５－３ スポーツの振興

５－３－① スポーツ活動の充実

ねらい (めざす姿)	・スポーツ活動に参加する機会が増え、より多くの市民がスポーツに親しむことができます。		
基本事業の成果指標	H 2 3 基準値	H 2 9 目標値	実施計画事業
スポーツ大会・教室へ参加した市民の割合 (%)	13.9	 (15.0)	山武市支部（学校区）体育振興事業
スポーツ大会・教室の機会の充足度 (%)	63.0	 (65.0)	

５－３－② 体育関係団体・指導者の育成

ねらい (めざす姿)	・体育関係団体・指導者が育成され、地域でのスポーツ活動が活発になります。		
基本事業の成果指標	H 2 3 基準値	H 2 9 目標値	実施計画事業
スポーツ団体数（総合型地域スポーツクラブを含む）（団体）	50	50	
体育関係団体の指導者数（人）	119	124	

５－３－③ 体育施設の充実

ねらい (めざす姿)	・市民の多くが体育施設を快適に利用することができます。		
基本事業の成果指標	H 2 3 基準値	H 2 9 目標値	実施計画事業
体育施設の利用者数（人）	137,537	180,000	
体育施設の修繕件数（件）	0	0	

５－３－④ 世代別のスポーツ実施率のばらつき解消

ねらい (めざす姿)	・幅広い年齢の市民がスポーツに取り組み、世代間のスポーツ実践率の格差が解消されています。		
基本事業の成果指標	H 2 3 基準値	H 2 9 目標値	実施計画事業
週 2 回以上 30 分以上運動している 60 歳～69 歳の割合 (%)	29.5	 (33.0)	
週 2 回以上 30 分以上運動している 30 歳～50 歳の割合 (%)	18.7	 (20.0)	

施策５－４ 学校家庭地域の連携

５－４－① 開かれた学校づくり

ねらい (めざす姿)	・学校・家庭・地域で健全育成のために話し合い、方策を実施しています。 ・学校行事に地域住民が参加しています。		
基本事業の成果指標	H 2 3 基準値	H 2 9 目標値	実施計画事業
学校行事に参加している市民の割合 (%)	37.2	 (40.0)	
学校ミニ集会などの学校との話し合い に参加した市民の割合 (%)	10.9	 (20.0)	
学校と地域との話し合いによる方策・改 善数 (件)	21	19	

５－４－② 教育情報の発信

ねらい (めざす姿)	・学校や教育に関する情報を提供し、現状や方針が伝えられ、理解されています。		
基本事業の成果指標	H 2 3 基準値	H 2 9 目標値	実施計画事業
教育関係部局のホームページアクセス 数 (アクセス)	106,145	110,000	
学校や教育に関する情報提供の満足度 (%)	62.0	 (70.0)	

５－４－③ 家庭教育力の向上

ねらい (めざす姿)	・基本的な倫理観や自立心、自制心などの社会的マナーなどが身についています。		
基本事業の成果指標	H 2 3 基準値	H 2 9 目標値	実施計画事業
家庭教育学級の参加者数 (人)	6,328	7,000	
家庭教育講座の参加者数 (人)	394	440	
家庭教育力向上のために工夫をしてい る保護者の割合 (%)	52.6	 (56.0)	

５－４－④ 地域教育力の向上

ねらい (めざす姿)	・異年齢、異世代の地域の人々との関わりの中で子どもが育っています。		
基本事業の成果指標	H 2 3 基準値	H 2 9 目標値	実施計画事業
青少年育成事業への児童・生徒の参加者 数 (人)	1,305	1,800	放課後子ども教室開催事業 少年海外派遣支援事業
体験学習の参加者数 (人)	871	1,050	

施策５－５ 人権尊重のまちづくり

５－５－① 人権教育・人権啓発の推進

ねらい (めざす姿)	・人権が尊重され、人権を侵害させない教育・啓発が行われます。		
基本事業の成果指標	H 2 3 基準値	H 2 9 目標値	実施計画事業
この１年間に人権について学んだことのある市民の割合（％）	22.4	 (27.0)	子ども人権（C A P）事業
この１年間に人権侵害をするような言動や行動をした市民の割合（％）	9.9	 (9.0)	

５－５－② 人権相談の充実

ねらい (めざす姿)	・人権が侵害されたときに問題解決の道が示されます。		
基本事業の成果指標	H 2 3 基準値	H 2 9 目標値	実施計画事業
人権相談件数（件）	28	 (33)	

５－５－③ 人権擁護の推進

ねらい (めざす姿)	・人権を侵害する虐待、暴力、差別及び偏見がなくなります。		
基本事業の成果指標	H 2 3 基準値	H 2 9 目標値	実施計画事業
人権侵害に対する相談件数（件）	213	 (600)	

５－５－④ 男女共同参画の推進

ねらい (めざす姿)	・男女共同参画意識が定着します。		
基本事業の成果指標	H 2 3 基準値	H 2 9 目標値	実施計画事業
審議会などに女性委員が登用されている割合（％）	30.0	30.0	
「男は外で働き、女は家庭を守る」という考え方ではない人の割合（％）	66.3	 (68.0)	
男性が家事・育児に積極的に参加している割合	40.4	 (45.0)	

実施計画事業名		少人数指導授業推進事業					[928]		
政策名	05	生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり			担当部課	教育部 学校教育課			
施策名	01	学校教育の充実			事業区分	継続事業			
基本事業名	02	「確かな学力」の向上と「活きた学力」の推進			計画年度	平成20年度 ～			
1 対象（誰、何に対して事業を行うのか）					2 事業概要・全体計画				
児童					市内小学校の児童の学習意欲・学力向上を図るため、個に応じた授業（少人数指導授業）をより多く受けられるよう、市独自に非常勤職員を講師として採用、学校に配置します。講師が教員の補助をすることにより、1学級2人の教師で児童生徒によりきめ細かな指導・支援が行えるようにします。				
3 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）					【手順】				
少人数指導授業など個に応じたきめ細かな指導を行うことにより、児童の学習意欲の向上を図ります。					平成23年度 3名の講師を3校に配置。 平成24年度 4名の講師を4校に配置。 平成25年度以降 配置する講師を1名ずつ増やし、配置する学校も1校ずつ増やしていきます。				
指標・事業費の推移					単位	H26年度当初	H27年度計画	H28年度計画	H29年度計画
区 分	指 標 名 称								
活動指標①	市独自採用講師による少人数指導授業の実施回数				回数	6,090	7,105	8,120	9,135
活動指標②	市独自採用の少人数指導講師数				人	6	7	8	9
成果指標①	少人数指導授業を受けた児童の学習意欲が向上した割合				%	76	76	76	76
成果指標②	少人数指導を受けた児童数				人	600	700	800	900
事 業 費				当初予算	千円	7,800	9,101	10,400	11,700
				平成26年度繰越額	千円				

実施計画事業名		小学校空調機改修事業				[1483]		
政策名	05	生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり		担当部課	教育部 教育総務課			
施策名	01	学校教育の充実		事業区分	継続事業			
基本事業名	05	安全な教育環境の整備		計画年度	平成23年度 ～ 平成27年度			
1 対象（誰、何に対して事業を行うのか）				2 事業概要・全体計画				
大平小学校				老朽化が進み不具合が多発して学校環境に支障が生じ始めたこと、また、集中管理型で、個別に必要な教室だけの使用ができないことにより無駄も生じていたため、各教室ごとに使用でき、光熱費も削減できる、環境に配慮した空調設備に改修します。 大平小学校 平成26年度 設計 平成27年度 施工				
3 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）								
児童が快適に学習できる環境になります。								
指標・事業費の推移				単位	H26年度当初	H27年度計画	H28年度計画	H29年度計画
区 分	指 標 名 称							
活動指標①	委託件数			件	1	1		
活動指標②	工事件数			件		1		
成果指標①	改修実施率			%	33	100		
成果指標②								
事業費			当初予算	千円	3,186	98,632		
			平成26年度繰越額	千円				

実施計画事業名		小学校体育館改修事業				[1681]		
政策名	05	生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり		担当部課	教育部 教育総務課			
施策名	01	学校教育の充実		事業区分	継続事業			
基本事業名	05	安全な教育環境の整備		計画年度	平成25年度 ～ 平成27年度			
1 対象（誰、何に対して事業を行うのか）				2 事業概要・全体計画				
日向小学校、睦岡小学校、山武北小学校の体育館				老朽により雨漏り等が発生している日向小学校・睦岡小学校・山武北小学校の体育館について、改修工事を行います。また、平成24年度に実施した非構造部材現況調査を基に非構造部材耐震対策を併せて行い、安全・安心を確保します。				
3 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）				平成25年度 設計 平成26年度 日向小学校 施工 平成27年度 睦岡・山武北小学校 施工				
災害の際に安心して避難所として開放できます。								
指標・事業費の推移				単位	H26年度当初	H27年度計画	H28年度計画	H29年度計画
区 分	指 標 名 称							
活動指標①	業務委託件数			件	1	1		
活動指標②	工事数			件	1	2		
成果指標①	安全が確保された体育館数			件	1	3		
成果指標②								
事業費			当初予算	千円		269,136		
			平成26年度繰越額	千円				

実施計画事業名		I C Tサポート事業					[1787]			
政策名	05	生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり			担当部課	教育部 学校教育課				
施策名	01	学校教育の充実			事業区分	継続事業				
基本事業名	05	安全な教育環境の整備			計画年度	平成26年度 ～				
1 対象（誰、何に対して事業を行うのか）					2 事業概要・全体計画					
山武市内小中学校児童・生徒・教職員					学校でのICTを活用した授業を支援するため、外部人材を派遣します。 平成26年度1月から開始し、各校週1回程度外部人材を派遣します。					
3 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）					派遣回数 平成26年度：7回×19校 平成27年度：40回×19校 平成28年度：29回×19校 平成29年度：29回×19校 以降の派遣回数は、成果向上の状況により検討する予定です。					
授業などにおけるICT活用を円滑に進める環境が整います。										
指標・事業費の推移					単位	H26年度当初	H27年度計画	H28年度計画	H29年度計画	
区 分	指 標 名 称									
活動指標①	教員のICT活用を支援する外部人材の派遣回数				回	7	40	29	29	
活動指標②										
成果指標①	ICTを活用した授業を実施した教員の割合				%	30	45	60	75	
成果指標②										
事 業 費					当初予算	千円	3,591	20,520	15,153	15,153
					平成26年度繰越額	千円				

実施計画事業名		(仮称) 松尾交流館ダンス振興事業				[1817]		
政策名	05	生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり		担当部課	総務部 企画政策課			
施策名	02	生涯学習の推進		事業区分	新規事業			
基本事業名	01	学習ニーズに対応した学習機会の提供		計画年度	平成27年度 ～			
1 対象（誰、何に対して事業を行うのか）				2 事業概要・全体計画				
市民				（仮称）松尾交流館を中心に、「ダンス」を切り口とした多世代が交流できるコンテンツを提供し、地域交流や地域支え合いの拠点としての機能を強化します。 ※平成27年度は、地方創生関連交付金（平成26年度からの繰越）を活用し、オープニングのイベント開催のほか、ダンスの事前講座の開設や松尾ふれあい館の音響設備の改修等を予定しています。				
3 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）								
世代を問わず、誰もがダンスに親しみ、市民交流や市民の体力向上につながります。								
指標・事業費の推移				単位	H26年度当初	H27年度計画	H28年度計画	H29年度計画
区 分	指 標 名 称							
活動指標①	住民への周知回数			回		8	12	12
活動指標②								
成果指標①	参加者数			人		1,200	2,400	2,400
成果指標②								
事 業 費			当初予算	千円		13,340	18,440	18,440
			平成26年度繰越額	千円		10,594		

実施計画事業名			山武市支部（学校区）体育振興事業					[987]		
政策名	05	生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり			担当部課	教育部 スポーツ振興課				
施策名	03	スポーツの振興			事業区分	継続事業				
基本事業名	01	スポーツ活動の充実			計画年度	平成19年度 ～				
1 対象（誰、何に対して事業を行うのか）					2 事業概要・全体計画					
市民					山武市支部体育事業補助金交付要綱に基づき、各学校区（支部）の体育事業について補助金を交付します。（支部体育祭、バレーボール、ソフトボール、グラウンドゴルフ、ドッジボール、ホーリング、ウォーキング等各種大会）また、体育協会総会（5月）時に、各学校区の支部役員に対して補助金交付要綱の説明を行います。なお、下記のとおり随時、補助金交付の手続きを行います。					
3 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）					1.交付申請書を受付 2.交付要綱に基づき補助金額を決定（概算払請求時は交付） 3.実績報告書を受付 4.交付要綱に基づき補助金額を確定 →請求に基づき補助金を交付（概算払請求時は清算）					
体育活動団体の組織・体制が整備され、市民がスポーツにふれる機会や参加できる機会が提供されます。										
指標・事業費の推移					単位	H26年度当初	H27年度計画	H28年度計画	H29年度計画	
区 分	指 標 名 称									
活動指標①	補助金交付件数				件	13	13	13	13	
活動指標②	補助金交付額				千円	2,200	1,950	1,950	1,950	
成果指標①	各体育大会参加者数				人	3,000	2,000	2,000	2,000	
成果指標②	事業実施数				回	13	13	13	13	
事業費					当初予算	千円	2,200	1,950	1,950	1,950
					平成26年度繰越額	千円				

実施計画事業名			放課後子ども教室開催事業					[967]		
政策名	05	生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり			担当部課		教育部 生涯学習課			
施策名	04	学校家庭地域の連携			事業区分		継続事業			
基本事業名	04	地域教育力の向上			計画年度		～			
1 対象（誰、何に対して事業を行うのか）					2 事業概要・全体計画					
市内の小学校、児童					放課後子ども教室を実施する団体（講師）への報償の支払い、消耗品の購入、保険加入等の事務を行います。また、普及活動として、校長会での呼びかけ、市内小学校及び地域住民と実施のための打合せなどを行います。 ≪緑海小≫ 開催日：毎月第2土曜日の午前中 講師登録者数35名、児童登録者数約64名 ≪日向小≫ 開催日：毎月第3木曜日の放課後 講師登録者数22名、児童登録者数71名 ≪山武西小≫開催日：毎月第1木曜日の放課後 講師登録者数11名、児童登録者数26名					
3 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）										
放課後等の子どもたちの安全で健やかな活動場所が確保されます。										
指標・事業費の推移					単位	H26年度当初	H27年度計画	H28年度計画	H29年度計画	
区 分	指 標 名 称									
活動指標①	打合せを実施した小学校数				校	13	13	13	13	
活動指標②										
成果指標①	放課後子ども教室を開催している小学校数				校	3	3	3	3	
成果指標②	放課後子ども教室に参加したのべ児童数				人	1,300	1,300	1,300	1,300	
事業費					当初予算	千円	1,648	1,445	1,445	1,445
					平成26年度繰越額	千円				

実施計画事業名		少年海外派遣支援事業					[976]			
政策名	05	生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり			担当部課	教育部 生涯学習課				
施策名	04	学校家庭地域の連携			事業区分	継続事業				
基本事業名	04	地域教育力の向上			計画年度	平成18年度 ～				
1 対象（誰、何に対して事業を行うのか）					2 事業概要・全体計画					
市内在住の中学生・高校生 少年海外派遣団					市内在住の中学生・高校生を海外へ派遣し、その自然・文化及び社会情勢・福祉活動等を見分させ、広い視野と国際感覚豊かな人材を育成します。					
3 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）					・ 山武市少年海外派遣団からの補助金申請に対して、内容を審査し交付の可否を決定し補助金を交付します。（7月） ・ 研修生の決定は、募集時に提出した作文及び面接により選考します。定員は平成22年度から20名以内としました。					
海外で、その自然・文化及び社会情勢・福祉活動等を体験することにより、広い視野と国際感覚が身につきます。										
指標・事業費の推移					単位	H26年度当初	H27年度計画	H28年度計画	H29年度計画	
区 分	指 標 名 称									
活動指標①	打合せ日数（面接・結団式・研修会）				日	7	7	7	7	
活動指標②										
成果指標①	海外派遣により、国際感覚が身についたと思う参加者の割合				%	100	100	100	100	
成果指標②										
事 業 費					当初予算	千円	3,600	4,886	5,280	5,280
					平成26年度繰越額	千円				

実施計画事業名		子ども人権(CAP)事業					[974]			
政策名	05	生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり			担当部課	教育部 生涯学習課				
施策名	05	人権尊重のまちづくり			事業区分	継続事業				
基本事業名	01	人権教育・人権啓発の推進			計画年度	～				
1 対象（誰、何に対して事業を行うのか）					2 事業概要・全体計画					
市立小学校、幼稚園、こども園の児童とその保護者等					CAP（Child Assault Prevention）とは、子どもたちがいじめ、誘拐、虐待、性暴力といった様々な暴力から自分を守るための人権講習プログラムです。 劇を通じて子どもたちの「生きる力」を引き出し、子どもの「安心・自信・自由」の権利と自らの身を守るための方法を練習します。					
3 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）					子ども以外にも、教職員・保護者など大人を対象としたワークショップも併せて提供していきます。					
保護者が子どもの人権について、また、子ども同士でもお互いの人権について正しく理解出来るようにします。					《内容》人権講習プログラム（各コース）を実施 委託先（講師）：エンジョイ・キャップ 今後、市内の全私立保育園でも実施できるよう対象の拡大に取り組んでいきます。					
指標・事業費の推移					単位	H26年度当初	H27年度計画	H28年度計画	H29年度計画	
区 分	指 標 名 称									
活動指標①	開催回数				回	34	44	44	44	
活動指標②										
成果指標①	延べ参加者数				人	530	630	630	630	
成果指標②										
事業費					当初予算	千円	1,298	1,587	1,587	1,587
					平成26年度繰越額	千円				

政策 6 市民と行政が協働してつくるまちづくり

【施策】

6-1 協働と交流によるまちづくり

6-2 開かれた市政

6-3 計画的・効率的な行財政運営

6-4 公正確実な事務の執行

【基本事業】

6-1-① 市民活動の活性化

6-1-② 協働意識の向上

6-1-③ 市民活動施設の整備と利用促進

6-1-④ 異文化交流の推進

6-2-① 広報の充実

6-2-② 広聴の充実

6-2-③ 情報公開及び個人情報保護の推進

6-2-④ 議会情報の公開の推進

6-3-① 行政評価の推進

6-3-② 人材育成と効率的な組織運営

6-3-③ 健全な財政運営

6-3-④ 財源の確保

6-3-⑤ 公共資産の適正化とファシリティ マネジメントの推進

6-3-⑥ 窓口サービスの向上

6-3-⑦ 情報化の推進

6-4-① 適正な会計処理

6-4-② 積極的な選挙啓発

6-4-③ 監査の充実

施策 6－1 協働と交流によるまちづくり

6－1－① 市民活動の活性化

ねらい (めざす姿)	・市民活動に参加する個人、団体・NPO法人が増えます。 ・分野別の人材活用ができます。 ・地域活動が活発に行われます。		
基本事業の成果指標	H 2 3 基準値	H 2 9 目標値	実施計画事業
NPO法人、市民活動・ボランティア団体数（団体）	139	150	市民提案型交流のまちづくり推進事業
区会、自治会加入率（％）	77.3	80.2	地域まちづくり協議会事業

6－1－② 協働意識の向上

ねらい (めざす姿)	・行政との協働に対する意識が高まります。 ・地域活動が活発に行われます。		
基本事業の成果指標	H 2 3 基準値	H 2 9 目標値	実施計画事業
勉強会、講座などへの参加者数（人）	729	700	
市民との協働を理解する職員の割合（％）	81.7	 (90.0)	

6－1－③ 市民活動施設の整備と利用促進

ねらい (めざす姿)	・市民活動施設が整備され、市民や市民活動団体の活動する場が確保され、利用されます。		
基本事業の成果指標	H 2 3 基準値	H 2 9 目標値	実施計画事業
市民活動支援施設の利用者数（人）	11,808	12,000	
市民活動や地域活動をするための活動の場（施設）の充足度（％）	56.6	 (65.0)	

6－1－④ 異文化交流の推進

ねらい (めざす姿)	・異文化を理解し、市民生活や生活文化が向上します。		
基本事業の成果指標	H 2 3 基準値	H 2 9 目標値	実施計画事業
交流事業参加者数（人）	200	1,000	地域まちづくりグローバル賑わい空間事業
外国語（併記）刊行物等の種類数（件）	1	 (5)	

施策６－２ 開かれた市政

6－2－① 広報の充実

ねらい (めざす姿)	・ 市政情報が適切に市民に伝わり、市民の市政に対する理解が深まっています。		
基本事業の成果指標	H 2 3 基準値	H 2 9 目標値	実施計画事業
広報紙を読んでいる市民の割合 (%)	91.9	 (94.0)	
広報紙が分かりやすいと思う市民の割合 (%)	88.5	 (88.0)	
市ホームページアクセス件数 (アクセス)	292,292	360,000	
市の各種広報手段の平均認知率 (%)	34.9	 (40.0)	

6－2－② 広聴の充実

ねらい (めざす姿)	・ 市民の声や意見が市政に的確に届いています。		
基本事業の成果指標	H 2 3 基準値	H 2 9 目標値	実施計画事業
市民の声が市政に届いていると思う市民の割合 (%)	28.7	 (33.0)	
市民からの意見数 (市長への手紙・メール) (件)	100	 (90)	
市民参加手法の実施回数 (回)	232	 (240)	

6－2－③ 情報公開及び個人情報保護の推進

ねらい (めざす姿)	・ 情報公開制度に対する市民の認知が高まり、市が公開する情報を市民が容易に入手できます。 ・ 市が保有する個人情報 that 適正に管理・保護されています。		
基本事業の成果指標	H 2 3 基準値	H 2 9 目標値	実施計画事業
情報公開制度を知っている市民の割合 (%)	9.8	 (20.0)	
個人情報の漏洩件数 (件)	3	0	

6-2-④ 議会情報の公開の推進

ねらい (めざす姿)	・議会への関心が高まっています。 ・市政情報が適切に市民に伝わり、市民の市政に対する理解が深まっています。		
基本事業の成果指標	H 2 3 基準値	H 2 9 目標値	実施計画事業
議会だよりを読んでいる市民の割合 (%)	48.6	 (60.0)	
傍聴人数 (人)	120	130	
議会インターネット中継アクセス件数 (件)	1,905	2,500	

施策 6－3 計画的・効率的な行財政運営

6－3－① 行政評価の推進

ねらい (めざす姿)	・ 市民ニーズに対応した事業が計画的かつ効果的・効率的に行われ、限りある資源の有効活用が図られています。		
基本事業の成果指標	H 2 3 基準値	H 2 9 目標値	実施計画事業
成果が向上した事務事業割合 (%)	31.3	40.0	行政評価制度推進事業
基本事業の目標達成割合 (%)	57.5	70.0	

6－3－② 人材育成と効率的な組織運営

ねらい (めざす姿)	・ 職員の資質が向上し、効率的な組織運営が行われています。		
基本事業の成果指標	H 2 3 基準値	H 2 9 目標値	実施計画事業
市民 1,000 人当たりの職員数 (人)	8.25	8.13	人事評価事業
能力が十分発揮され実績が評価されていると思う職員の割合 (%)	67.6	 (70.0)	
研修により資質の向上が図られていると思う職員の割合 (%)	80.1	90.0	

6－3－③ 健全な財政運営

ねらい (めざす姿)	・ 歳入に見合った自立性の高い財政運営が行われています。		
基本事業の成果指標	H 2 3 基準値	H 2 9 目標値	実施計画事業
経常収支比率 (%)	89.0	89.0	
人件費割合 (%)	18.3	18.3	
実質公債費比率 (%)	14.3	13.0	

6－3－④ 財源の確保

ねらい (めざす姿)	・ 適正に賦課が行われています。 ・ 収納率が向上しています。		
基本事業の成果指標	H 2 3 基準値	H 2 9 目標値	実施計画事業
不服申立等により課税誤りとなった件数 (件)	0	0	
市税収納率 (%)	95.7	96.5	

6-3-⑤ 公共資産の適正化とファシリティマネジメントの推進

ねらい (めざす姿)	・公共資産が有効活用されています。 ・公共資産総量の適正化を図り、維持管理費が軽減されます。		
基本事業の成果指標	H 2 3 基準値	H 2 9 目標値	実施計画事業
市保有の土地活用率 (%)	39.4	45.0	松尾地域賑わい空間創出事業 本庁舎整備事業 (仮称)蓮沼タワー整備事業 (仮称)松尾交流館整備事業 (仮称)蓮沼タワー振興事業
市民1人当たり公共施設維持管理費 (万円)	21.7	19.5	
公共施設の平均稼働率 (%)	—	—	

6-3-⑥ 窓口サービスの向上

ねらい (めざす姿)	・正確で迅速な窓口サービスが受けられます。		
基本事業の成果指標	H 2 3 基準値	H 2 9 目標値	実施計画事業
窓口サービスの満足度 (%)	77.0	 (85.0)	

6-3-⑦ 情報化の推進

ねらい (めざす姿)	・ITを活用した行政サービスが利用できます。		
基本事業の成果指標	H 2 3 基準値	H 2 9 目標値	実施計画事業
市のITサービスを利用している市民 割合 (%)	22.8	 (35.0)	証明書等コンビニ交付構築事業
クラウドで構築したシステム数 (件)	3	11	

施策 6－4 公正確実な事務の執行

6－4－① 適正な会計処理

ねらい (めざす姿)	・ 債権者に公正で確実な公金の支払いが行われます。		
基本事業の成果指標	H 2 3 基準値	H 2 9 目標値	実施計画事業
口座振替支払期日における支払不能 件数（件）	224	112	

6－4－② 積極的な選挙啓発

ねらい (めざす姿)	・ 投票に関する権利の行使への意識が高まります。		
基本事業の成果指標	H 2 3 基準値	H 2 9 目標値	実施計画事業
国政投票率（衆議院）（％）	62.4 (H21)	65.0	
国政投票率（参議院）（％）	51.0 (H22)	55.0	
県政投票率（知事）（％）	47.3 (H20)	50.0	
県政投票率（県議）（％）	44.3 (H19)	45.5	
市政投票率（市長）（％）	42.5 (H22)	60.0	
市政投票率（市議）（％）	61.2 (H23)	65.0	

6－4－③ 監査の充実

ねらい (めざす姿)	・ 監査の充実を図ることにより、事務改善が進みます。 ・ 監査結果や措置結果について、情報公開されます。		
基本事業の成果指標	H 2 3 基準値	H 2 9 目標値	実施計画事業
監査による指摘事項などの措置率（％）	100	100	
監査結果及び措置結果の市ホームページ公開件数（件）	5	6	

実施計画事業名		市民提案型交流のまちづくり推進事業				[1334]		
政策名	06	市民と行政が協働してつくるまちづくり		担当部課	総務部 市民自治支援課			
施策名	01	協働と交流によるまちづくり		事業区分	継続事業			
基本事業名	01	市民活動の活性化		計画年度	平成23年度 ～			
1 対象（誰、何に対して事業を行うのか）				2 事業概要・全体計画				
市民				市民活動団体が、自主的、主体的に企画し、他の団体との連携を持ちながら実施する事業で、人々の交流が生まれ地域の連帯が強化される事業を提案し、審査の結果採択された事業に補助金の交付を行います。				
3 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）				補助率：補助対象経費の10/10（限度額：新規団体30万円、交流団体50万円）				
市民の手によるまちづくり活動の促進、市民や市民活動団体のつながりができ、暮らしやすい地域となります。				審査委員：地域審議会委員、学識経験者、NPO団体公募委員 市職員 審査会：10月…提案団体からの提案事業審査 3月…実施団体からの成果報告会により事業評価				
指標・事業費の推移				単位	H26年度当初	H27年度計画	H28年度計画	H29年度計画
区 分	指 標 名 称							
活動指標①	審査件数			件	9	15	15	15
活動指標②								
成果指標①	事業実施件数			件	7	15	15	15
成果指標②	事業実施に伴い連携した団体数			団体	10	15	15	15
事 業 費			当初予算	千円	2,850	4,141	5,650	5,650
			平成26年度繰越額	千円				

実施計画事業名		地域まちづくり協議会事業					[1337]	
政策名	06	市民と行政が協働してつくるまちづくり		担当部課	総務部 市民自治支援課			
施策名	01	協働と交流によるまちづくり		事業区分	継続事業			
基本事業名	01	市民活動の活性化		計画年度	平成23年度 ～			
1 対象（誰、何に対して事業を行うのか）				2 事業概要・全体計画				
市民(小学校区)				平成26年度 ・地域まちづくりモデル事業の実施団体と協議を開始します。 ・協議会の必要性和内容を議論していきます。 ・地域フォーラム等を実施しながら地域の市民に情報を発信し議論を深めていきます。 ・地域まちづくり協議会の規約の検討を行います。				
3 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）				平成27年度 ・地域まちづくり協議会の組織立ち上げを実施していきます。 ・地域まちづくり計画を策定します。				
各小学校区を基準として区域内で活動する自治会、区を基盤に、地域で活動する団体・組織が、緩やかに連携・協力することで地域の特性を生かし、コミュニティ活動をさらに活発にするとともに地域の課題を地域で解決することを目指します。								
指標・事業費の推移				単位	H26年度当初	H27年度計画	H28年度計画	H29年度計画
区 分	指 標 名 称							
活動指標①	協議会への理解度			%	50	15.38	30.76	46.15
活動指標②								
成果指標①	協議会数			区	2	2	4	6
成果指標②								
事 業 費		当初予算		千円	3,000	7,081	8,888	12,891
		平成26年度繰越額		千円				

実施計画事業名		地域まちづくりグローバル賑わい空間事業				[1846]		
政策名	06	市民と行政が協働してつくるまちづくり		担当部課	総務部 市民自治支援課			
施策名	01	協働と交流によるまちづくり		事業区分	新規事業			
基本事業名	04	異文化交流の推進		計画年度	平成27年度 ～			
1 対象（誰、何に対して事業を行うのか）				2 事業概要・全体計画				
市民、松尾高校				地域市民の連帯の強化及び魅力あふれる地域まちづくりを推進するため、英語合宿・英語ワークショップ事業、外部専門家招へい事業、学校連携型の公営塾事業を実施。 1. 英語合宿・英語ワークショップ事業 （特色化、魅力化による高校の生き残り地域活性化） 2. 外部専門家招へい事業 ダンスによる地域おこし、松尾高校の魅力化SGH、公営塾・英語合宿等地域教育の特色化、魅力化事業の実施 （松尾地域の賑わいを創出する地域まちづくり） 3. 地域まちづくり支援員 地域と学校と行政が連携して、生徒一人ひとりの夢の実現、学習意欲の向上、教育格差のない地域まちづくりを目指した公営塾事業を実施。グローバル人材育成の創出				
3 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）								
地域で活動する団体、組織、学校、市民等が連携協力することで、地域の特性を活かしたまちづくりを目指します。 ・特色化、魅力化による高校の生き残り地域活性化（スーパーグローバルハイスクール認定取得） ・公営塾による地域教育をモデル実施								
指標・事業費の推移				単位	H26年度当初	H27年度計画	H28年度計画	H29年度計画
区 分	指 標 名 称							
活動指標①	英語合宿等開催回数			回		2	2	2
活動指標②								
成果指標①	アンケートによる満足度			%		80	85	90
成果指標②	参加者人数（延べ）			人		120	120	120
事 業 費				当初予算	千円	14,311	14,311	14,311
				平成26年度繰越額	千円			

実施計画事業名			行政評価制度推進事業					[127]	
政策名	06	市民と行政が協働してつくるまちづくり			担当部課	総務部 企画政策課			
施策名	03	計画的・効率的な行財政運営			事業区分	継続事業			
基本事業名	01	行政評価の推進			計画年度	平成18年度～			
1 対象（誰、何に対して事業を行うのか）					2 事業概要・全体計画				
・総合計画に定める体系（政策－施策－基本事業－事務事業） ・職員 ・市民					総合計画の施策・基本事業及び事務事業に目的達成度を表す成果指標と目標値を設定・評価し、その結果に基づくPlan-Do-Seeのマネジメントサイクルを回して、費用対効果の高い事業への資源配分、結果重視の行政運営を目指し事業を実施します。 【平成27年度】事務事業と施策・基本事業とを連動させることでさらなる推進を図ります。 4月 まちづくりアンケートの実施 4月～6月 施策基本事業評価・事務事業評価（ｽﾌﾟﾘﾝｸﾞ ﾋﾞｼﾞﾆｰｽﾞ） 7月～ 事務事業評価（ｵｰﾄﾑﾝ ﾋﾞｼﾞﾆｰｽﾞ） 9月 まちづくり報告書 事務事業評価報告書策定 9月～ 施策枠予算編成の実施 2月 実施計画書の策定				
3 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
・総合計画の進行管理が行えるようになります。 ・行政評価制度を理解し、事務や事業の分析・改善を効果的に行う職員が増えます。 ・事務事業評価、施策・基本事業評価の結果を活用して、適切な資源配分が行われます。									
指標・事業費の推移					単位	H26年度当初	H27年度計画	H28年度計画	H29年度計画
区 分	指 標 名 称								
活動指標①	説明会・研修会の実施回数				回	3	3	2	2
活動指標②	評価・点検を実施した事務事業数				事業	300	300	300	300
成果指標①	施策・基本事業の成果指標設定割合				%	100	100	100	100
成果指標②	行政評価制度を理解し、事務事業を行っている職員の割合				%	55	50	55	60
事業費			当初予算	千円	6,740	6,238	6,250	6,250	
			平成26年度繰越額	千円					

実施計画事業名			人事評価事業					[18]		
政策名	06	市民と行政が協働してつくるまちづくり			担当部課		総務部 総務課			
施策名	03	計画的・効率的な行財政運営			事業区分		継続事業			
基本事業名	02	人材育成と効率的な組織運営			計画年度		平成20年度 ～			
1 対象（誰、何に対して事業を行うのか）					2 事業概要・全体計画					
職員（一般職）					職員が職務を通じて発揮した能力、業績を的確に把握し、公正に評価することで、 ①職員の人材育成 ②適材適所の任用 ③適切な給与処遇 の実現を図り、職員の能力・やる気を引き出し、組織の活性化、市民サービスの向上を図ります。					
3 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）										
職員自身の発揮した能力や業績に応じて、職員が納得した公正公平な評価がされます。										
指標・事業費の推移					単位	H26年度当初	H27年度計画	H28年度計画	H29年度計画	
区 分	指 標 名 称									
活動指標①	研修会開催回数				回	5	5	5		
活動指標②										
成果指標①	人事評価制度の仕組みや制度を理解している職員の割合				%	80	80	80		
成果指標②	人事評価制度が適正に運用されていると思う職員の割合				%	65	65	65		
事業費					当初予算	千円	1,117	756	1,117	
					平成26年度繰越額	千円				

実施計画事業名		松尾地域賑わい空間創出事業					[1154]		
政策名	06	市民と行政が協働してつくるまちづくり			担当部課	総務部 企画政策課			
施策名	03	計画的・効率的な行財政運営			事業区分	継続事業			
基本事業名	05	公共資産の適正化とファシリティマネジメントの推進			計画年度	平成21年度～平成27年度			
1 対象（誰、何に対して事業を行うのか）					2 事業概要・全体計画				
市民 松尾庁舎等					松尾庁舎等の解体、撤去後の跡地について、市民ニーズを踏まえながら、松尾地域の賑わいの拠点として機能するよう整備を行います。 平成26年度 (仮称)松尾交流館整備工事 平成27年度 (仮称)松尾交流館オープン				
3 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
松尾庁舎跡地が、市民ニーズを踏まえながら、松尾地域の賑わいの拠点として整備されます。									
指標・事業費の推移					単位	H26年度当初	H27年度計画	H28年度計画	H29年度計画
区 分	指 標 名 称								
活動指標①	説明会（意見交換会等を含む。）の開催回数				回	3	1		
活動指標②	庁内検討会議開催数				回	4	2		
成果指標①	庁舎改修事業の進捗率（建設事業費ベース）				%	100	100		
成果指標②									
事 業 費					当初予算	千円	731,971	37	
					平成26年度繰越額	千円		798,102	

実施計画事業名		本庁舎整備事業					[1471]			
政策名	06	市民と行政が協働してつくるまちづくり			担当部課	総務部 財政課				
施策名	03	計画的・効率的な行財政運営			事業区分	継続事業				
基本事業名	05	公共資産の適正化とファシリティマネジメントの推進			計画年度	平成23年度 ～ 平成28年度				
1 対象（誰、何に対して事業を行うのか）					2 事業概要・全体計画					
本庁舎施設、施設利用者					施設利用者の利便性向上のため、本庁舎施設の環境整備を行います。また、本庁舎施設の老朽箇所や不良個所の整備を計画的に行うことで、本庁舎施設の省エネ化や長寿命化を図ります。					
3 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）					平成25年度 議場空調改修工事 本庁舎トイレ改修工事（繰越予算）					
本庁舎に機能が集約され、円滑かつ効率的な行政事務が行われています。					平成26年度 本庁舎敷地再整備計画策定業務 本館空調設備改修設計業務 駐車場用地造成工事					
					平成27年度 本館空調設備改修工事 本庁舎駐車場等整備工事（拡張）					
					平成28年度 本庁舎駐車場等整備工事（既存）等					
指標・事業費の推移					単位	H26年度当初	H27年度計画	H28年度計画	H29年度計画	
区 分	指 標 名 称									
活動指標①	打ち合わせ回数				回	10	10	10		
活動指標②										
成果指標①	整備した面積				m ²	2,350	3,100	11,400		
成果指標②										
事 業 費					当初予算	千円	62,719	271,419	89,100	
					平成26年度繰越額	千円				

実施計画事業名		(仮称) 蓮沼タワー整備事業				[1763]		
政策名	06	市民と行政が協働してつくるまちづくり		担当部課	総務部 企画政策課			
施策名	03	計画的・効率的な行財政運営		事業区分	継続事業			
基本事業名	05	公共資産の適正化とファシリティマネジメントの推進		計画年度	平成26年度 ～ 平成29年度			
1 対象（誰、何に対して事業を行うのか）				2 事業概要・全体計画				
蓮沼地区 蓮沼出張所庁舎等				（仮称）蓮沼タワーは、津波避難施設として、山武市津波ハザードマップの想定を基に、波高10mの津波による浸水深さに対して十分安全な避難床高及び避難有効面積を有する施設とします。 また、平時においては、蓮沼地域の中核的施設として地域の活性化に資する機能を付加するとともに、蓮沼中央公民館が有する地域コミュニティの活動拠点機能を一体化・集約化した施設として整備します。 ＜平成26年度＞ 蓮沼出張所等解体撤去設計積算業務委託 (仮称)蓮沼タワー基本・詳細設計業務委託 解体撤去工事費は、設計額が決まり次第予算計上し、解体撤去工事に着手します。 ＜平成27年度＞ (仮称) 蓮沼タワー建設工事				
3 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）								
地区住民等が津波から緊急避難することができる施設が整備されます。 また、平時においては蓮沼地域の中核的施設として、地域コミュニティの維持・地域活性化に資する施設として整備されます。								
指標・事業費の推移				単位	H26年度当初	H27年度計画	H28年度計画	H29年度計画
区 分	指 標 名 称							
活動指標①	説明会等の開催回数			回	1	-		
活動指標②								
成果指標①	整備事業のうち調査設計業務経費の進捗率			%	100	-		
成果指標②								
事 業 費		当初予算		千円	48,616	253,553		
		平成26年度繰越額		千円		37,303		

実施計画事業名		(仮称) 松尾交流館整備事業				[1876]		
政策名	06	市民と行政が協働してつくるまちづくり		担当部課	総務部 企画政策課			
施策名	03	計画的・効率的な行財政運営		事業区分	新規事業			
基本事業名	05	公共資産の適正化とファシリティマネジメントの推進		計画年度	平成26年度 ～			
1 対象（誰、何に対して事業を行うのか）				2 事業概要・全体計画				
(仮称) 松尾交流館				(仮称) 松尾交流館内の農産物直売所の開設に必要なレジシステム等を整備します。				
3 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）				平成27年度 レジシステム等の導入及び備品の整備				
(仮称) 松尾交流館内の農産物直売所が整備されます。				※平成27年度は、地方創生関連交付金（平成26年度からの繰越）を活用し事業実施を予定しています。				
指標・事業費の推移				単位	H26年度当初	H27年度計画	H28年度計画	H29年度計画
区 分	指 標 名 称							
活動指標①	業務発注件数			件		2		
活動指標②								
成果指標①	施設整備率（事業費ベース）			%		100		
成果指標②								
事 業 費			当初予算	千円				
			平成26年度繰越額	千円		10,977		

実施計画事業名		(仮称)蓮沼タワー振興事業				[1877]		
政策名	06	市民と行政が協働してつくるまちづくり		担当部課	総務部 企画政策課			
施策名	03	計画的・効率的な行財政運営		事業区分	新規事業			
基本事業名	05	公共資産の適正化とファシリティマネジメントの推進		計画年度	平成26年度～			
1 対象（誰、何に対して事業を行うのか）				2 事業概要・全体計画				
蓮沼地区				(仮称)蓮沼タワー商業施設導入にあたり、地域の賑わいを創出するため、基本コンセプト策定から導入店舗等の決定まで一連の業務で専門家の支援を受け誘致に繋げていきます。 ※平成27年度は、地方創生関連交付金（平成26年度からの繰越）を活用し事業実施を予定しています。				
3 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）								
(仮称)蓮沼タワー内商業施設に店舗や団体等が誘致され、隣接する道の駅との相乗効果で地域の拠点性が向上します。								
指標・事業費の推移				単位	H26年度当初	H27年度計画	H28年度計画	H29年度計画
区 分	指 標 名 称							
活動指標①	庁内検討会議開催回数			回		6		
活動指標②	地域関係者検討会議開催回数			回		4		
成果指標①	商業施設フロア導入店舗等決定割合			%		100		
成果指標②								
事 業 費			当初予算	千円				
			平成26年度繰越額	千円			8,125	

実施計画事業名			証明書等コンビニ交付構築事業				[1556]	
政策名	06	市民と行政が協働してつくるまちづくり		担当部課	総務部 企画政策課			
施策名	03	計画的・効率的な行財政運営		事業区分	継続事業			
基本事業名	07	情報化の推進		計画年度	平成23年度～平成27年度			
1 対象（誰、何に対して事業を行うのか）				2 事業概要・全体計画				
市民				市民が住基カードを利用して、全国のコンビニで、住民票の写し及び印鑑登録証明書を受け取れる仕組みを構築します。 ・コンビニ交付システム及びＩＣカード標準システムの安定稼働（保守委託） ・住基カード交付手数料の無料化：平成24年10月から平成27年3月 ・証明書交付手数料の100円安 平成26年度 取り扱い証明書追加（税証明書、戸籍） 平成27年度 個人番号カード対応システム改修 個人番号カードでの発行開始 平成28年度 安定稼働、維持管理				
3 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）								
市民がコンビニで各種証明書（住民票の写し、印鑑登録証明書、税証明書及び戸籍）を受取れます。								
指標・事業費の推移				単位	H26年度当初	H27年度計画	H28年度計画	H29年度計画
区 分	指 標 名 称							
活動指標①	保守業者等の保守点検日数			日	12	12	12	12
活動指標②	住基カード・個人番号カード発行枚数			枚	750	750	20,000	5,000
成果指標①	コンビニで受け取ることができる証明書等の種類			種類	8	8	8	8
成果指標②	コンビニ交付件数			件	1,500	2,000	4,500	4,500
事業費			当初予算	千円	58,448	18,918	19,266	19,266
			平成26年度繰越額	千円				

政策 99 総合推進

施策 99－1 政策の総合推進

99－1－1 施策の総合推進

実施計画事業	地方創生総合戦略推進事業
--------	--------------

実施計画事業名			地方創生総合戦略推進事業					[1872]	
政策名	99	総合推進			担当部課		総務部 企画政策課		
施策名	01	政策の総合推進			事業区分		新規事業		
基本事業名	01	総合推進			計画年度		平成26年度 ～		
1 対象（誰、何に対して事業を行うのか）					2 事業概要・全体計画				
市民 職員 戦略に定める体系					人口問題に対する市民の認識の共有を図るとともに、将来にわたって活力ある社会を維持していくために、山武市として必要な目標を定め、具体的な対応策を推進していきます。				
3 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）					平成27年度 基礎調査、推進体制整備運用 地方人口ビジョン、地方創生総合戦略策定 平成28年度～ 具体的施策の実施、進捗管理				
人口ビジョン及び戦略を定めることにより、市民と行政が一体となって地方創生に取り組むことができます。 戦略の進捗管理が行えるようになります。					※平成27年度は、地方創生関連交付金（平成26年度からの繰越）を活用した事業実施を予定しています。				
指標・事業費の推移					単位	H26年度当初	H27年度計画	H28年度計画	H29年度計画
区 分	指 標 名 称								
活動指標①	推進組織会議開催回数				回		4	2	2
活動指標②	実施事業数				事業		27	50	50
成果指標①	山武市人口				人		53,000	52,400	51,800
成果指標②	成果が向上した事業割合				%		30	35	40
事業費					当初予算	千円			
					平成26年度繰越額	千円		9,999	